

平成30年陸別町議会9月定例会会議録（第2号）						
招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成30年9月12日	午前10時00分	議長	宮川 寛	
	延会	平成30年9月12日	午後3時51分	議長	宮川 寛	
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
出席 8人	1	中村佳代子	○	8	宮川 寛	○
欠席 0人	2	久保広幸	○			
凡例	3	多胡裕司	○			
○ 出席を示す	4	本田 学	○			
▲ 欠席を示す	5	山本厚一	○			
× 不応招を示す	6	渡辺三義	○			
▲㊟ 公務欠席を示す	7	谷 郁 司	○			
会議録署名議員	久保広幸		多胡裕司			
職務のため議場に出席した者の職氏名	事務局長 早坂政志			主任主査 吉田利之		
法第121条の規定により出席した者の職氏名	町 長	野尻秀隆		教育長	野下純一	
	監査委員	飯尾清		農業委員会長（議員兼職）	多胡裕司	
町長の委任を受けて出席した者の職氏名	副町長	佐々木敏治		会計管理者兼町民課長	芳賀均	
	総務課長	高橋豊		産業振興課長	副島俊樹	
	建設課長	清水光明		保健福祉センター次長	丹野景広	
	国保健康診療所事務長	（丹野景広）		総務課参事	高橋直人	
	総務課主幹	空井猛壽				
教育長の委任を受けて出席した者の職氏名	教委次長	有田勝彦				
農業委員会会長の委任を受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	棟方勝則				
議 事 日 程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第57号	平成29年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
3	議案第58号	平成29年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
4	議案第59号	平成29年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
5	議案第60号	平成29年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
6	議案第61号	平成29年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
7	議案第62号	平成29年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
8	議案第63号	平成29年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開議宣告

○議長（宮川 寛君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（宮川 寛君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、2 番久保議員、3 番多胡議員を指名します。

- ◎日程第 2 議案第 57 号平成 29 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 3 議案第 58 号平成 29 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 4 議案第 59 号平成 29 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 5 議案第 60 号平成 29 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 6 議案第 61 号平成 29 年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 7 議案第 62 号平成 29 年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 8 議案第 63 号平成 29 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
-

○議長（宮川 寛君） 日程第 2 議案第 57 号平成 29 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第 8 議案第 63 号平成 29 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第 57 号平成 29 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 58 号平成 29 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 59 号平成 29 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 60 号平成 29 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第

61号平成29年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第62号平成29年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第63号平成29年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第57号から議案第63号まで、7件を一括して、別紙監査委員の意見を付しまして、議会の承認を求めるものであります。

内容につきましては、副町長のほうから説明いたしますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第57号から議案第63号まで、一括して説明をさせていただきます。

議案第57号平成29年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてであります。説明資料ナンバー3をお開きいただきたいと思います。資料ナンバー3は、29年度の陸別町の各会計の決算状況を、今回、一覧にさせていただきました。

まず、議案第57号の一般会計ですが、歳入決算額が50億156万1,098円、歳出決算額が47億5,207万4,166円、歳入歳出差引額が2億4,948万6,932円、翌年度へ繰り越すべき財源、繰越明許費繰越額ですが、1億3,909万2,000円であります。実質収支につきましては1億1,039万4,932円、この中から2分の1以上ということで、財政調整基金に6,000万円を積み立てしております。差し引き、30年度へ繰り越しする額というのは5,039万4,932円ということになります。

次、議案第58号になります、国保会計ですが、歳入決算額が4億7,846万2,097円、歳出決算額が4億6,095万9,684円、歳入歳出差引額が1,750万2,413円、この額が30年度へ繰り越しする額となります。

議案第59号の直診会計ですが、歳入決算額が3億2,070万2,962円、歳出決算額が2億9,842万4,630円、差し引き2,227万8,332円が30年度へ繰り越しする額となります。

議案第60号の簡水会計ですが、歳入決算額が1億8,056万3,611円、歳出決算額が1億7,616万9,059円、差し引き439万4,552円が30年度に繰り越しする額であります。

議案第61号の下水道会計ですが、歳入決算額1億8,046万378円、歳出決算額が1億7,851万8,516円、差し引き194万1,862円が30年度に繰り越しする額になります。

議案第62号の介護保険会計ですが、歳入決算額3億901万3,888円、歳出決算額が2億9,967万9,180円、差し引き933万4,708円が30年度に繰り越しする額となります。

それから、議案第63号の後期高齢者会計ですが、歳入決算額4,158万9,676円、歳出決算額も同額の4,158万9,676円、差し引きゼロであります。

合計しますと、歳入決算額が65億1,235万3,710円、歳出決算額が62億741万4,911円、歳入歳出差引額が3億493万8,799円で、一般会計の翌年度へ繰り越すべき財源1億3,909万2,000円、これを引きまして。実質収支額が1億6,584万6,799円、一般会計の財政調整基金に6,000万円を積みます。差し引きしますと、全体では、30年度に繰り越しする額というのは、1億584万6,799円が一般会計、特別会計で30年度に繰り越しする財源となります。

次のページ、ナンバー4をお開きください。ナンバー4は、一般会計と特別会計の各課に配当している予算の執行状況、決算であります。したがって、一般会計の決算書の各科目ごとの執行額、不用額とは一致しません。

一般会計、特別会計、左側が一般会計になります。

まず、総務課のほうは、決算額が21億8,947万2,665円、執行率は98.1%になります。これは各課に配当して執行しておりますので、款ごとの執行率とは異なります。

それから、町民課ですが、決算額が2億7,632万7,642円、執行率が96.5%になります。町民課では特別会計も二つほど担当しております、まず、国保会計です。決算額が4億6,095万9,684円、執行率93.5%。それから、後期高齢者医療特別会計4,158万9,676円、99.5%の執行率となっております。

それから、保健福祉センターですが、決算額3億7,336万9,899円、執行率は97.3%となります。保健福祉センターは介護保険会計も担当しております、決算額2億9,967万9,180円、執行率は96.9%になります。

それから、産業振興課です。決算額8億4,073万2,720円。30年度に繰り越しする繰越明許費が8,004万1,000円ございます。それらを含めると、予算額との比較では86.5%の執行率になりますが、この8,004万1,000円を予算額から引いた執行率となりますと99.2%となります。

それから、建設課です。決算額が8億4,095万4,238円、執行率は88.9%。ここでも繰越明許費が8,258万6,000円ございますので、予算額からこれを引いた額で割り返しますと97.4%の執行率となります。建設課は簡水会計と下水道会計の担当をしております。まず、簡水会計については、決算額ですが、1億7,616万9,059円、97.5%の執行率。それから、下水道会計ですが、1億7,851万8,516円、99%の執行率になります。

教育委員会ですが、1億6,152万3,092円、96.9%の執行率です。

直診会計です。2億9,842万4,630円、95.3%の執行率になります。

それから、議会ですが、3,553万9,593円、98.4%の執行率。

監査ですが、206万8,948円、99.1%の執行率。

選挙管理委員会、377万4,337円で、93.9%の執行率。

農業委員会ですが、565万3,199円、94.3%の執行率。

消防署ですが、2,265万7,833円で、92.7%の執行率になります。

合計しますと、一般会計ですが、47億5,207万4,166円で、繰越明許費が1億6,262万7,000円あります。これらを含めると93.9%の執行率ですが、繰越明許費を控除した予算額で比較しますと97.4%の執行率となります。

特別会計では、14億5,534万745円ということで、特別会計全体で95.8%の執行率となります。

一般会計、特別会計、ここに記載のとおりであります。予算額65億7,812万1,600円に対して、決算額が62億741万4,911円、94.4%の執行率。繰越明許費1億6,262万7,000円を含めて94.4%、除きますと96.8%の執行率となります。

次のページ、ナンバー5をお開きください。ナンバー5は、一般会計における各課ごとの配当された予算に対する決算額、これに対する財源の内訳になります。左側は資料ナンバー4と同じで円単位ですが、右側につきましては1,000円単位で記載をしております。

まず、総務課については、一般財源が19億1,960万6,000円、特定財源が2億6,986万7,000円です。総務課につきましては、交付税が主な内容になります。一般財源です。

それから、町民課につきましては、一般財源が1億5,462万8,000円、特定財源が1億2,170万円ですが、町民課の一般財源は町税が主な内容。

それから、保健福祉センターが、一般財源1億7,517万2,000円、特定財源が1億9,819万8,000円。

産業振興課が、一般財源2億5,092万6,000円、特定財源が5億8,980万7,000円。

建設課ですが、一般財源が3億2,524万5,000円の、特定財源が5億1,570万9,000円です。

教育委員会は、一般財源が1億1,333万9,000円、特定財源が4,818万4,000円。

議会、監査については一般財源であります。

選挙管理委員会は、一般財源が47万6,000円で、329万8,000円が特定財源。選挙管理委員会は、衆議院議員選挙の国の委託金であります。

それから農業委員会は、一般財源が513万円で、特定財源が52万3,000円。

消防署が、一般財源1,384万5,000円の、特定財源が881万3,000円。これは消防自動車、小利別1号車の補助金になります。

トータルしますと、一般財源総額が29億9,597万5,000円、特定財源が17億5,609万9,000円です。これを足したものが歳出総額の47億5,207万4,000円となります。

ただ、この下に、一般財源総額 3 2 億 4, 5 4 6 万 2, 0 0 0 円と記載がございますが、これは歳入決算額から特定財源を控除した額が 3 2 億 4, 5 4 6 万 2, 0 0 0 円になるということです。算式としては、ここに記載の二つ目の◎があります。歳入の決算額 5 0 億 1 5 6 万 1, 0 9 8 円から歳出決算額 4 7 億 5, 2 0 7 万 4, 1 6 6 円を控除した 2 億 4, 9 4 8 万 6, 9 3 2 円より 1 億 3, 9 0 9 万 2, 0 0 0 円の繰越明許費を控除して、先ほど説明しました基金積立金 6, 0 0 0 万円を控除して、5, 0 3 9 万 4, 9 3 2 円が 3 0 年度へ繰り越しする額となります。

次に、資料ナンバー 6 をお開きください。6 は、地方創生交付金事業の実績資料でありまして、これは企画費の、道の駅を核とした銀河の里 DMO 観光地域づくり連携事業の 3 町連携事業の内容であります。

3 町連携事業で地域産品販路拡大実証事業、地域産品のマーケティング・販路構築実証。この表の見方は、当初予算では 1 0 0 万円を見ておりましたけれども、実績としては 4 9 万 3, 2 0 0 円で、交付金充当というのは国からの交付金です。これは 2 分の 1 ですので、2 4 万 6, 6 0 0 円。差し引き、一般財源が 2 4 万 6, 6 0 0 円となります。このように、圏域オリジナルメニューの創作 1 0 0 万円に対して執行額が 6 5 万 7, 3 6 0 円で、その 2 分の 1、3 2 万 8, 6 0 0 円。それから、道の駅観光施設の機能性・発信性向上と地域間連携 1 0 0 万円の予算に対して 1 0 7 万 6, 4 0 0 円、5 3 万 8, 2 0 0 円。それから、3 町観光モデルルート・観光コンテンツ開発事業 1 5 0 万円ですが、決算額が 1 1 3 万 5 3 3 円で、その 2 分の 1、5 6 万 5, 2 0 0 円。当初予算合計 4 5 0 万円ですが、執行額合計が 3 3 5 万 7, 4 9 3 円で、交付金はその 2 分の 1、1 6 7 万 8, 6 0 0 円。その下の圏域周遊モデルルート開発事業で、役務費で十勝バスラッピング、ふるさと銀河線柄ということで、当初予算で 1 0 4 万 9, 0 0 0 円を見ておりましたが、実績額が 1 0 4 万 2, 8 2 6 円、交付金が 5 2 万 1, 4 0 0 円であります。合計しますと、予算額 5 5 4 万 9, 0 0 0 円に対して実績額が 4 4 0 万 3 1 9 円、国の交付金が 2 2 0 万円であります。十勝イノベーションエコシステム推進事業、十勝連携ということで、負担金 1 0 万円ですが、これも 1 0 万円、交付金が 5 万円です。トータルしますと、予算額 5 6 4 万 9, 0 0 0 円に対して執行額が 4 5 0 万 3 1 9 円で、2 分の 1、2 2 5 万円の交付金と一般財源が 2 2 5 万 3 1 9 円になります。

十勝バスラッピング関係ですとか、これは決算書の 4 6 ページに載っておりますし、中段の先ほど言いました 4 5 0 万円の予算に対して 3 3 5 万 7, 4 9 3 円、これと、それから十勝連携事業の 1 0 万円、これらについては決算書の 4 8 ページに中身の記載がございます。これは後ほど説明をさせていただきます。

それから、7 ページをお開きください。説明資料の 7 ページです。説明資料 7 ページは、2 9 年度繰越明許事業です。これは 2 8 年度からの繰越明許事業となります。

まず、この科目は、款項目、社会保障・税番号制度管理事業、これは一般管理費です。1 9 節で 1 9 万 8, 0 0 0 円の繰越明許がございましたが、実績としては 9 万 9, 0 0 0 円

の執行に終わったと。この繰越額19万8,000円は決算書の40ページに記載がございます。それから、実績額については42ページ。それから、国庫支出金のほうの9万9,000円は20ページに出てきます。

それから、その下、民間活用住宅建設事業、これは企画費です。2,300万円、これは決算書46ページ。それから、実績額が2,300万円、これも48ページです。

それから、その下、太陽光発電設置事業、これも企画費、19節で50万円、これも46ページですし、実績額50万円も48ページに出ています。

それから、交流センター改修事業、これは交流センター管理費です。工事請負費720万3,600円の繰り越しで、これは50ページです。

それから、同じく720万3,600円は50ページ。

その二つ上の民間活用住宅のその他財源、基金、これは820万円、基金を取り崩しておりますので、これは30ページのほうで出てきます。

それから、交流センターのほう、510万円も30ページに出てきます。

それから、畜産・酪農収益力強化整備事業、これは畜産業費です。2億4,778万9,000円の繰越額、これは決算書80ページにあります。実績額が2億1,291万1,500円、これも80ページ。国庫支出金は24ページになります。

その下、農業競争力強化基盤整備事業、これは農地費です。4,265万円、これは82ページ。実績額4,264万9,470円、これも82ページです。それから、619万円の国庫補助、これは24ページ。基金の2,886万円は14ページに出てきます。

それから、教員住宅建設事業、これは事務局費であります。役務費3万円、それから、工事請負費4,410万2,000円は102ページ。実績額ですが、2万6,199円は103ページ。工事請負費4,235万7,600円は105ページ。国庫補助金1,848万7,000円は20ページ。起債2,170万円は38ページから39ページに出てきます。

それから、公共土木施設災害復旧事業、これは道路橋りょう災害復旧費です。需用費34万7,000円の繰越額、これは119ページ。同じく工事請負費571万6,000円も119ページになります。実績額、11節は7万8,390円、それから、工事請負費513万円は119ページです。国庫補助金410万4,000円は20ページ。起債は100万円、38ページから39ページになります。

したがって、繰越額3億7,153万5,600円に対して、執行額が3億3,395万5,759円、国庫補助金が2億4,179万1,500円、起債が2,270万円、その他財源4,216万円で、一般財源が2,730万4,259円となります。

次、資料ナンバー8をお開きください。8は、30年度繰越明許事業の一覧です。これは29年度から30年度への繰越明許費となります。

まず一番上、太陽光発電設置事業、これは企画費です。19節で50万円、太陽光1件の補助、これは決算書の41ページ、47ページ、49ページに出てきます。

それから、緊急雇用対策事業、これは緊急雇用対策費でありまして、11節の2万円から16節の40万円までは77ページ。合計で354万6,000円となります。

それから、その下、農業競争力強化基盤整備事業、農地費7,649万5,000円は83ページ。この中で、国、道補助金の656万円、これが収入未済額になっております。それから、基金の1,437万5,000円も収入未済額になっております。

それから、社会資本整備総合交付金事業、これは住宅建設費、公営住宅の建設費であります。12節2万6,000円、それから、15節8,206万円、これは99ページになります。それで、国庫補助金の3,730万円は29年度で収入済みとなっております。したがって、合計で繰越明許費の額は1億6,262万7,000円の繰越額で、国、道の補助金が4,386万円ですが、公営住宅建設の3,730万円はもう既に29年度で収入済みと。その他財源の1,697万5,000円は収入未済額となっております。それから、一般財源1億179万2,000円ですが、これは決算書の122ページに出てきます。この額と収入済額の3,730万円を合わせた額、これが1億3,909万2,000円となります。これが収入済額ということで、決算書の122ページに出てくる数字になります。翌年度へ繰り越しすべき財源ということで、今言いました国庫補助金の3,730万円と一般財源の1億179万2,000円、これを足したもの1億3,909万2,000円が収入済みでありますので、決算書122ページの翌年度へ繰り越しすべき財源に記載となっております。

それでは、決算書の134ページ、資料になりますけれども、まずそちらのほうを説明したいと思います。

134ページをお開きください。134ページ、これは一般会計の説明資料になります。

135ページから順次説明をさせていただきます。

まず、第1表、135ページは平成29年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額50億5,955万3,600円、決算額、歳入が先ほど説明しました50億156万1,098円、歳出決算額47億5,207万4,166円で、差し引き2億4,948万6,932円で、先ほど説明しました翌年度に繰り越しすべき財源1億3,909万2,000円、それから、財政調整基金に積み立てした6,000万円、これを控除した額が5,039万4,932円ということで、30年度への繰越金となります。つまり、これが先ほど資料ナンバー3で説明した額となります。歳出の執行率は93.9%ですが、ここで予算額50億5,955万3,600円の中には、28年度の繰越明許費3億7,153万5,600円も入っています。それから、30年度に繰り越しすべき繰越明許費1億6,262万3,000円も入っております。その二つを足した5億3,416万2,600円が繰越明許費として予算額に入っております。これを控除した額が45億2,539万1,000円の29年度単年度の予算額ということになります。歳入もございまして、28年度の決算額で3億3,395万5,759円ございまして、それから、引くと44億1,81

1万8,407円ですが、実質的には97.6%の執行率ということになります。

次のページ、136ページ、歳入の実績表であります。

まず町税であります。収入済額、29年度は3億6,095万4,427円、この内訳としては、現年課税分で3億6,028万61円、滞納繰越分で67万4,366円、不納欠損で8万178円ございます。これは8件でございます。6件です、失礼しました。収入未済額215万4,031円、これは316件ということで、現年課税分で37人、124件、98万2,608円、滞納繰越分で37人の192件で117万1,423円となります。

地方交付税ですが、22億7,316万6,000円。この一番右側にありますけれども、収入割合でいくと一般会計の歳入に占める地方交付税の割合というのは45.4%となっております。足していきますと、先ほど説明した予算額に対して調定額50億379万5,307円、それに対して収入済額が50億156万1,098円です。不納欠損が8万178円で、収入未済額が215万4,031円になります。

御存じのとおり、自主財源というものがございます。この歳入の中の自主財源が13億9,867万4,190円ございまして、前年度から見ると2,241万5,123円、自主財源がふえてございます。歳入に占める割合でいくと28%、28年度から見ると4.4%ほど伸びてございます。

一方、国、道等に依存する財源、これは依存財源といいますが、これが36億288万6,908円あります。28年度と比較しますと、72%と同率ですが、この依存財源の中に占める交付税の割合は63.1%となっております。

第3表、歳出の実績表ですが、ここは款ごとの予算現額、支出済額、翌年度繰越額がございまして、合計でいきますと、予算額が50億5,955万3,600円で、支出済額が47億5,207万4,166円、繰越明許費が1億6,262万7,000円の、不用額が1億4,485万2,434円。執行率は93.7%。繰越明許費などを除いた執行率でいくと、先ほど言いました97.6%となります。

第4表、138ページは町税の徴収実績表であります。現年度分と滞納繰越分でありませぬ。

まず町民税の収入未済額65万3,908円、これは15人の46件、個人分、未収ですが、65万3,908円で同じであります。

それから、固定資産税、不納欠損1万4,700円は1件、収入未済額が26万8,500円、14人の70件、これは純固定資産税のほうと同額でございます。

軽自動車税が、収入未済額6万200円は8人の8件でございます。合計で、現年度分が1万4,700円の、不納欠損が1件、それから、98万2,608円の未収が37人の124件でございます。

滞納繰越分ですと、町税で不納欠損が7,778円で2人の2件、未収が81万3,501円で17人の72件、個人分で同額でございます。

それから、固定資産税で、不納欠損が3人の3件、5万7,700円、それから、未収が28万3,622円で12人の107件、純固定資産税で同額でございます。

軽自動車税で未収が7万4,300円、8人の13件です。

合計しますと、現年度分と滞納繰越分を足したのですが、まず、不納欠損が6件の8万178円、それから、収入未済額が74人の316件で215万4,031円となります。全体の収納率は99.4%、28年度から見ると0.2ポイント増となっております。

次、139ページ。

第5表の歳出の性質分析表です。人件費から繰出金まで、款ごとに分類しておりますが、この中で特に扶助費、それから人件費、公債費、人件費の6億6,394万3,000円と扶助費の2億2,491万7,000円、公債費の5億1,847万7,000円、これらを足したものが自治体でいう義務的経費と言われております。これらを足すと14億733万7,000円となりまして、先ほど説明しました自主財源13億9,867万4,000円では賄えないと。したがって、足りない分は、866万3,000円ほど足りないのですが、その分は普通交付税などを充当して義務的経費を支払っていると、そういう内容になります。

次のページ、140ページは、第6表、最近5年間の決算額であります。歳入歳出ですので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

141ページは、地方消費税交付金の社会保障財源化分であります。ここに記載のとおり、平成26年度決算から、消費税が5%から8%に上がった分の3%分を社会保障費の財源とする法律改正に伴って義務化されたものであります。社会福祉、社会保険、保健衛生、29年度の決算額が8億8,130万6,000円、財源として、特定財源と言われるものはこの記載のとおり、国、道支出金が2億1,643万6,000円の、地方債が9,490万円、その他が1億6,840万9,000円で、一般財源として地方消費税交付金が2,029万5,000円の充当と。これは決算書の129ページと139ページに出ています。

以上で資料の説明を終わります。

決算書、8ページをお開きください。

歳入ですが、細かい部分は省略させていただきたいと思っております。

まず、町税の関係ですが、資料ナンバー9-1、2に、町税の調定、収入状況、資料ナンバー10に十勝市町村税滞納整理機構の引き継ぎ状況、資料ナンバー11に不納欠損の状況がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

まず、町税の収入済額3億6,095万4,427円、99.4%の収納率です。ことし3月31日現在、年度末の人口2,392人で割りますと、1人当たり15万901円ということで、28年度から見ると1万8,898円ほど増となっております。それと、この収入済額の中には、税滞納整理機構から25件、40万215円が入っております。それから、収入未済額が215万4,031円ございますが、8月末までに22人、

73件、36万3,329円が入金となっております。

まず、町民税の個人ですが、現年課税分で1億1,797万5,066円、収入未済額が65万3,908円ですが、8月末で3人の6件、9万4,068円が入金。それから、滞納繰越分、収入済額51万5,393円ですが、この中には、税滞納整理機構から13件、26万4,170円が入っております。それから、未収額が81万3,501円ありますが、8月末までに8人、17件、13万1,139円が入金済みであります。

それから、法人については、調定額、収入済額同額の3,077万300円。

それから、固定資産税ですが、まず、現年課税分、調定額1億7,678万1,000円で、収入済額が1億7,649万7,800円、不納欠損1万4,700円で、1人、1件。収入未済額26万8,500円で、14人の70件です。8月末までに4人の16件、2万3,400円が現年課税分の未収の中に入金となっております。滞納繰越分で15万2,973円の収入済額ですが、この中には税滞納整理機構から12件、13万6,045円が入金済みであります。不納欠損が5万7,700円、3人、3件です。収入未済額が28万3,622円で、12人の107件ですが、8月末までに4人、29件、7万4,822円が入金済みでございます。

軽自動車税です。現年課税分では664万2,600円の調定に対して収入済額が658万2,400円で、収入未済が6万200円、8人、8件分。滞納繰越分で8万300円の調定に対して6,000円の入金、未収が7万4,300円で、8人、13件です。8月末までに3人、5件、3万9,900円が入金となっております。

次のページ。

町たばこ税につきましては、2,137万1,295円ということで、前年度から見ると82万8,517円ほど減額となっております。

それから、地方譲与税、自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税、これは記載のとおり。

それから、利子割交付金、これは51万円です。

それから、配当割交付金が72万8,000円。

株式等譲渡所得割交付金は73万9,000円。

地方消費税交付金については5,019万1,000円です。先ほど説明した社会保障財源化分が2,029万5,000円、その他の地方消費税交付金が2,989万6,000円の内訳となっております。

自動車取得税交付金1,848万円。

地方特例交付金は31万5,000円で、住宅ローンの関係。

それから、地方交付税です。

14ページです。

15ページで、22億7,316万6,000円です。3月末現在の人口2,392人で割り返しますと、1人当たり95万320円ということで、28年度から見ると、町民1人当たり4万1,379円の減額となっております。

それから、交通安全対策特別交付金については、基準額に満たないということで未交付。

分担金及び負担金、1項分担金の総務費分担金364万4,649円は、移動通信用鉄塔の整備に係る分担金。

それから、農林水産業費分担金、ここで、当初予算と補正予算を合わせた3,703万9,000円がございませう。繰越明許費で2,912万2,000円。まず、補正予算の1,290万2,000円は、繰越明許費の1,437万5,000円から、事業費確定分147万2,282円を引いた1,290万2,718円がこの額になっているということ。それから、当初予算の2,413万7,000円は、実収入が2,437万1,113円でありませう。繰越明許費の2,912万2,000円は、実収入が2,886万円となっております。この分担金ですが、5,323万1,113円、これは繰越明許費分で2,886万円、現年度分で2,437万1,113円でありませう。これは7法人と個人13戸の分担金でありませう。

それから、負担金の老人福祉費負担金は、町外養護老人ホーム入所者6名分。

それから、使用料及び手数料の使用料、総務使用料の行政財産使用料は、天文台、交流センター、町有地、庁舎など11施設の行政財産使用料、土地建物の使用料でございませう。

それから、次のページ。

福祉館等使用料2万7,300円は、若葉の集会所、目的外使用で、葬儀が1件ございませう。その使用料。

タウンホール使用料10万6,600円でありませう。

それから、ふるさと交流センター使用料1,596万8,000円、これは資料ナンバー17-1、2に、管理費内訳、利用状況がございませう。29年度は4,373人の利用でありませう。前年度から見ると49人の減となっております。

銀河の森宇宙地球科学館等使用料、資料ナンバー18に天文台の利用状況、ナンバー19の資料にコテージの利用状況がございませうので、後ほどごらんをいただきたいと思ひませう。天文台、コテージを合わせた収入済額が1,836万8,550円でありませう。まず、天文台は、利用者が8,091人ということで、28年度から見ると46人の増、コテージにつきましては28年度から下回っておりませうして、799棟、28年度から見るとマイナス110棟の利用減でございませう。稼働率は31.3%となっております。

それから、民生使用料の老人福祉使用料105万5,000円は、火災がありました福寿荘の関係でございませう。まず、4月から11月まではみどりハイツを利用させていただきました。12月からは福寿荘に入らせていただき、その収入済額が105万5,000円。

児童福祉使用料は308万3,000円で、保育所の使用料でありませう。ことしの3月26日、卒園式がございませうましたが、そのときの園児数が、2歳児で19名、3歳児で7

名、4歳児で16名、5歳児で22名の計64名でございます。

福祉住宅使用料67万9,500円はからまつハウスの入居者分。

それから、衛生使用料の保健衛生使用料227万3,990円は、公衆浴場の使用料であります。利用者が8,668人ということで、前年度から見ると2,169人の減となっております。大きな要因とすれば、高速道路工事関係者の入浴の減が考えられます。

それから、水道使用料450万8,342円、これは小利別地区の専用水道料でございます。46件で、前年度から見ると10件の増となっております。

それから、農林水産使用料の1節は加工センターの使用料13万円。それから、2節の営農用水使用料507万1,968円は、まず上陸別地区の営農用水使用料が280万9,022円、438件でございます。前年度から見るとマイナス1件。トラリ地区営農用水使用料が226万2,946円、252件です。前年度から見ると6件マイナス。

それから、商工使用料、公園使用料は、オフロードコースを含むイベント広場の使用料。

それから、土木使用料の道路橋りょう使用料241万7,256円は、道路占用料であります。17件で、前年度から見ると4件マイナス。

19ページです。

河川使用料6万9,951円ですが、25件で、前年度から見ると2件の増。

住宅使用料6,718万7,600円、これは町営住宅の使用料ですとか、改良貸付住宅使用料、特公賃住宅の使用料がここでございます。

教育使用料、社会教育使用料3万8,983円は、公民館使用料と公民館の陶芸室使用料。

それから、資料館使用料12万円、関資料館の使用料、入館料でございます。有料分が400人で、前年度から見るとマイナス55人でございます。

学童保育所使用料145万円は、ことしの3月末現在で25人が在席しておりまして、前年度から見ると3人の増となります。

手数料関係です。

まず、総務手数料176万7,800円は、住民基本台帳の発行手数料ですとか、戸籍の手数料、それらが主な内容。

それから、衛生手数料577万1,220円は、まず、ごみ袋の処理手数料、これが一番大きいです。あとは犬の登録手数料ですとか狂犬病の予防注射の手数料が主な内容。

それから、水道手数料8,000円は、新設工事審査手数料で1件分です。

それから、農林水産手数料、営農用水手数料8,000円、これも新設工事手数料1件分です。

○議長（宮川 寛君） 11時10分まで休憩いたします。

休憩 午前10時53分

再開 午前11時08分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） 19ページ、国庫支出金1項国庫負担金からになります。

21ページになります。

社会福祉費負担金ですが、この中には介護保険の低所得者保険料軽減分、それから、国税の保険者支援分などが入ってございまして、それぞれ低所得者の保険料軽減分は介護保険会計への繰出金の財源、保険者支援分については国保会計への繰出金の財源となります。

それから、2節児童福祉費負担金3,309万4,052円は、児童手当分が大きい金額でして、1,626万6,333円、それから、保育所運営費に当たります子どものための教育・保育給付費負担金1,673万4,179円が主な内容です。

それから、2項国庫補助金で、繰越明許費、20ページですけれども、2,312万5,000円ございますが、これは実収入は2,269万円であります。

それから、その下の総務費補助金19万8,000円、繰越明許費がございまして、これは実収入が9万9,000円ということで、先ほど資料の中で説明した金額でございます。

それから、ちょっと飛ばしまして、土木費補助金で住宅費補助金7,785万9,000円は、公住新町団地1棟3戸の建設の補助金でございます。

それから、その上の道路橋りょう費補助金5,049万1,000円の中には、雪寒機械、ダンプ、10トン車の補助金、それから、橋梁長寿命化の補助金が5,049万1,000円の中に入っております。

それから、4目の教育費補助金、繰越明許費1,877万1,000円ですが、実収入が1,848万7,000円。内容は、1節が教育総務費補助金1,863万7,000円ですが、この中に教員住宅建設事業の補助金1,848万7,000円が入っております。

それから、5目災害復旧費補助金4,156万円の繰越明許費、これは町道陸別薫別線の復旧費でございますが、実収入額が410万4,000円でございます。

次のページになります。

道支出金、14款です。1項道負担金の民生費負担金ですが、社会福祉費負担金6,339万8,072円、先ほど国庫支出金でも負担金の説明をしましたが、介護保険の低所得者の保険料軽減分、それから、国保会計への繰出金となります保険者支援分、それから保険料軽減分、ここの社会福祉費負担金は、大体おおよそ4分の1の負担率でございます。低所得者の負担率も4分の1で14万8,470円、これは介護保険の会計への繰出金、それから、先ほど言いました国税、保険者の支援分4分の1分が196万7,913円、それから保険料軽減分、これは4分の3ですが、956万6,906円、これは国保会計への繰出金となります。それからもう一つ、後期高齢者医療保険基盤安定負担金1,039万8,515円もこの中にございます。4分の3分ですが、これは後期高齢者医

療特別会計への繰出金となります。それから、その下の児童福祉費負担金1,214万3,745円、これは児童手当分が372万5,833円。それから、子どものための教育・保育給付費負担金836万7,089円が主な内容でございます。

それから、2項道補助金の繰越明許費2億5,383万7,000円ですが、実収入額は、先ほど説明しましたけれども、2億1,910万1,500円となります。

23ページの総務管理費補助金が2,636万7,000円ございますが、この中には、地域づくり総合交付金として450万円ございます。それから、もう一つ、移動通信用鉄塔整備事業の補助金、上陸別地区の鉄塔ですが、2,186万7,000円がこの中に入っております。

次のページになります。

4目農林水産業費補助金、繰越明許費で2億5,383万7,000円がございまして、実収入額は、先ほど資料で説明しました2億1,910万1,500円でございます。

それから、3項委託金関係は権限移譲などが主な内容でございますので、割愛します。

15款財産収入1項財産運用収入、財産貸付収入、土地建物貸付収入、これは普通財産の土地建物の貸付収入でございます。一番大きいものとしては、ルナコート1,440万円、それから、貸付住宅472万9,600円、それから、移住産業研修センター貸付収入が214万600円、それから、教員住宅の貸付収入348万7,600円が主な内容でございます。

それから、その下の通信設備貸付収入、これは光ファイバー網の貸付収入でございます、当初予算では平均で512件分を見ておりましたけれども、平均で516件ということで、当初予算から見ると4件の増となっております。

それから、機械器具等貸付収入、これはコントラクターへの農業機械の貸付収入でございますが、23年度貸し付け分が150万1,500円、24年度貸し付け分が10万円、25年度貸し付け分が94万5,000円の内訳でございます。

それから、利子及び配当金330万3,378円は、基金利子が328万5,078円、株式配当金が1万8,300円の内訳でございます。

次、2項財産売払収入の1目不動産売払収入1節土地売払収入214万5,078円は、国土交通省より高規格道路の用地、土地1万7,434.06平米、立木で1,895本、214万2,482円、もう一つは、北海道に2,596円、清水川の災害復旧工事用の土地、宇遠別ですが、77.65平米の土地売払収入でございます。

それから、物品売払収入の1節生産物売払収入は、町有林の立木の売り払い、素材売り払いが内容です。その下、不用物品売払収入は、昭和63年に購入したパワーショベルの売り払い81万円でございます。

それから、16款寄附金の指定寄附金980万4,584円ですが、この内訳としては、まず、指定寄附金が15件で668万4,584円、ふるさと納税分の寄附221件、312万円でございます。

総務費寄附金 835万3,900円ですが、まず、ふるさと整備資金では、指定寄附 1 件、623万3,900円、それから、ふるさと納税分で 115 件の 168 万円です。

それから、ふるさと銀河線の跡地活用の寄附金が、ふるさと納税分の 21 件で 25 万円。

町有林整備で、ふるさと納税分で 17 件の 19 万円、

教育費寄附金 75万684円ですが、まず、教育振興資金で指定寄附 1 件、33万684円。それから、給食センター管理運営資金として、ふるさと納税分で 20 件、30 万円。それから、スポーツ振興資金として 12 万円ですが、まず、指定寄附が 1 件、2 万円、それから、ふるさと納税分の寄附が 6 件の 10 万円です。

それから、民生費寄附金 46 万円は、地域福祉基金でして、指定寄附で 2 件、10 万円、ふるさと納税の寄附金が 22 件、36 万円です。

それから、農林水産業費寄附金 24 万円は、ふるさと納税分の寄附 20 件、24 万円となっております。

それから、17 款繰入金ですが、ナンバー 12 に年度別の増減一覧がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、基金の関係は、財政調整基金が 1 億 3,464 万 4,000 円の取り崩し、これは歳入不足分に充当する財源であります。

それから、ふるさと整備基金の繰入金が 1,210 万円。それから、いきいき産業支援基金が 1 億 1,200 万円です。繰越明許で 820 万円ございますが、実収入も 820 万円。それから、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金も 1,660 万円ございます。それから、町有林整備基金で 1,240 万円、地域福祉基金で 3,730 万円、公共施設等維持管理基金で 5,160 万円で、21 施設の維持管理に基金を充当しております。

学校給食センター管理運営基金では 2,000 万円、スポーツ振興基金では 37 万 7,000 円の取り崩しとなっております。

18 款繰越金、繰越明許費で 2,795 万 1,600 円ございます。これは実収入でございます。

それから、次のページへいきます。

19 款諸収入であります。まず、延滞金 22 万 3,817 円、これは町税の延滞金として、町民税 9 件、6 万 4,092 円、固定資産税 10 件、14 万 925 円。この中には、税滞納整理機構から 1 件、1 万 9,000 円も入っております。法人税 6 件、1 万 8,800 円、計 25 件の 22 万 3,817 円。

それから、預金利子は 2 万 320 円。

それから、貸付金元利収入、まず、家畜導入貸付金収入、これは資料ナンバー 26 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。5,685 万 6,000 円で、まず、約定償還分、牛 282 頭、3,466 万 8,000 円、繰上償還分、牛 75 頭、2,218 万 8,000 円でございます。

それから、貸付金元利収入8,000万3,500円は、信用保証協会の貸付金8,000万円が大きな内容でございます。

それから、奨学資金貸付金収入50万4,000円は、高校生3人、14万8,000円、大学等5件、35万6,000円であります。

次のページ。

受託事業収入で、農業費受託事業収入112万4,712円は、道営事業の関係で、事務費になります。トマム地区、第2上陸別地区など、事務費相当分。

それから、土木費受託事業収入22万2,787円は、道道の除雪作業に係る委託金でございます。

雑入になります。まず、1節の介護予防支援報酬、これは介護予防サービス計画の審査分で、町居宅介護支援事業所分56件、それから、国保連141件分でございます。それから、居宅介護支援報酬647万4,800円は、居宅介護サービス計画費、国保連から491件分。高齢者福祉施設負担金210万1,704円は、福寿荘の入居者の実費負担金。

学校給食費等は1,176万4,950円。小学生、中学生、保育所、職員等の負担金でございます。

それから、雑入で1億3,341万1,824円。大きいものとしては、介護給付費負担金の精算に伴う返還金、それから、加工センターの販売代金収入237万520円、それから、建物災害共済金1億69万円、これは福寿荘の火災に係る保険金であります。これらが大きな内容でございます。

次のページにいけます。

20款町債であります。資料ナンバー13に起債残高などの推移がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

町債の中で、36ページですが、繰越明許費が2,420万円ございますが、実収入は2,270万円であります。

町債4億4,679万7,000円ですが、内訳としては、過疎債が3億830万円、緊急防災対策債が3,600万円、一般単独債、防災対策ですが、540万円、それから、災害対策債が100万円、臨時財政対策債が9,609万7,000円の内訳となっております。

総務債、衛生債、農林水産業債とございます。

まず、総務債では1億1,580万円ですが、過疎ソフトの過疎地域自立促進特別対策事業7,130万円もこの中にございます。この過疎ソフト充当一覧については、資料ナンバー14につけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

消防債880万円、これは小利別1号車の購入に伴う起債の借り入れ。

それから、民生債は8,020万円ですが、福寿荘の整備で7,020万円がこの中に入っております。

次のページ。

臨時財政対策債が9,609万7,000円。

教育債、繰越明許費で2,320万円、実収入は2,170万円でございます。これは教員住宅の建設事業の起債であります。

それから、災害復旧債、繰越明許費100万円は実収入も100万円。これは町道陸別薫別線の災害復旧事業です。

歳入合計が、当初予算では45億5,922万6,000円、補正予算で1億2,879万2,000円、繰越明許費で3億7,153万5,600円ですが、これの実収入は3億3,460万3,100円となります。予算現額としては50億5,955万3,600円、調定額が50億379万5,307円、収入済額が50億156万1,098円、不納欠損が8万178円、収入未済額が215万4,031円で、一般会計歳入の決算を終えてございます。

次、歳出に移ります。

40ページです。

歳出については、大まかなものについて、ポイントだけ説明したいと思いますが、まず、説明資料ナンバー15-1、2で人件費の比較表をつけております。

それから、予算現額の中の繰越明許費については資料ナンバー7をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、41ページの翌年度繰越額の繰越明許費、これは資料ナンバー8をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

1款議会費については、議会の運営活動費、議員の報酬、あるいは職員の人件費などが主な内容でございます。

ちなみに、41ページで、先ほど説明しました繰越明許費がございしますが、これは予算には含んでおりますけれども、支出済額には含んでございません。つまりこちらのほうの繰越明許費は30年度への繰越明許費となります。40ページの予算現額のほうは、28年度からの繰越明許費と、そのようになりますので、御了承いただきたいと思います。

それから、2款総務費です。まず一般管理費ですが、これは昨年も説明させていただきましたけれども、総務課、総務担当の職員人件費、職員福利厚生費、職員の研修費などが主な内容。それから、企画財政室の電算システム管理事業、庁用の消耗品などを、備品を含みますけれども、一般管理費で計上しております。それから、町民課の戸籍住民担当のマイナンバーに係る管理事業に係る経費もこの中に入っております。

まず、41ページ。

職員手当で118万9,630円の不用額がございします。これは時間外勤務手当93万6,179円が主な内容でございます。あわせて、勤勉手当25万745円の不用額が主な内容でございます。

42ページに主要事業を載せております。

職員研修関係では13名分、電算システムの情報システム協議会の負担金2,410万1,827円、これは19節になります。

それから、社会保障税番号制度管理事業、これはマイナンバーの関係ですが、システム改修から、下から2行目の個人番号カード等発行委任費用、繰越分を含むということで、これら合わせますと579万5,480円でございます。先ほど説明した個人番号カード等発行委任費用、繰越分を含むというのは、ここで繰越明許分で9万9,000円がこの中に入っております。

旅費で98万1,987円の不用額がございますが、普通旅費で93万6,157円、特別旅費で4万5,830円の不用額が主な内容でございます。

19節で不用額が65万3,174円ございます。まず、これはマイナンバー制度の関係の負担金が48万7,520円、それから、公会計導入支援負担金8万8,773円が主な不用額の内容でございます。

それから、2目文書広報費、これは、まず総務課の総務担当の郵便料、宅配料などを計上しております。

それから、町民課の広報広聴統計担当、町広報誌の発行、それから町のホームページの管理、防災行政無線の管理、愛の鐘ですけれども、それらの維持管理関係の予算を計上しております。

主要事業の中で、防災行政無線機器更新工事、役場、恩根内、栄町でございますが、役場についてはデジタル無線の設備、恩根内は簡易中継局、栄町は屋外子局を設置してございます。工事請負費で3,607万2,000円となっております。

次のページにいきます。

3目財政管理費は予算書の印刷、4目会計管理費は決算書の印刷が主な内容です。

それから、5目財産管理費になります。財産管理費、決算額3億2,971万7,657円の内訳でございますが、まず、総務課の各担当の合計が2億7,353万3,852円です。各基金の管理ですとか、庁舎の維持管理、福祉館の維持管理、管財防災担当のバスを含む公用車の維持管理、それから、車両庫、りくべつ鉄道事業、コミュニティバスの運行経費などが先ほどの2億7,353万3,850円の中に含まれています。

それから、町民課が5,142万6,989円、これは税務担当の地籍図の修正、あるいは広報広聴統計担当の光ケーブル、地上デジタルテレビ中継局、移動通信用鉄塔などの維持管理費、それから、教育委員会のタウンホール維持管理費、これが475万6,816円。合わせて3億2,971万7,657円の決算となっております。

主要事業の中で、コミュニティバス647万6,760円ですが、これは委託料です。28年11月1日から試験運行を開始しておりまして、延べ1,763人の利用がございました。

それから、光ケーブル通信管理1,403万3,893円、それから、その下の移動通信用鉄塔、上陸別地区3,287万3,246円です。その上の光ケーブル通信管理の内訳と

しては、需用費で5万5,036円、委託料で931万6,354円、使用料及び賃借料で446万2,503円、負担金補助及び交付金で20万円、これは補助金であります。1,403万3,893円となります。

11節の不用額75万8,935円は、庁舎、公用車、地デジ、光ケーブルなどの修繕料が40万7,673円、それから、公用車の燃料費20万1,843円の不用額、これが主な内容でございます。

それから、委託料で211万435円の不用額ですが、これは光ケーブル設備維持管理の不用額202万9,446円が主な内容でございます。

次のページ。

積立金2億754万5,300円、これは基金の積立金ですが、資料ナンバー12に基金の一覧がございます。後ほどごらんをいただきたいと思えます。基金の一般会計分ですが、3月31日現在の人口2,392人で割り返しますと、町民1人当たりでは222万5,136円の、家庭でいえば貯金ということになります。

6目町有林野管理事業、資料ナンバー16に町有林の事業収支一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。28年から発生しているヤツバキクイムシの町有林被害が大きいわけですが、(4)の被害地造林事業、害虫害ということで、特殊地拵ウリキオナイ1.11ヘクタール、それから、準備地拵ウリキオナイ他1.85ヘクタールの対策を講じてきております。

それから、一番下の町有林拡大事業ということで、土地購入代金、56万5,224平米を購入して、拡大をしております。29年度末では83万5,444ヘクタールまで拡大をしたということになります。

それから、企画費でございます。

まず、まちづくり推進事業としては、空き家解体で13件、13戸の解体。

それから、まちづくり補助金1件で、特産品の製造。

それから、ふるさと納税促進ですが、委託料で180万4,949円。内訳としては、需用費で1万8,489円、役務費で7万5,564円、委託料で171万896円の内訳でございます。

なお、先ほど歳入で説明しましたがけれども、ふるさと納税の寄附金221件で312万円です。歳入歳出でいくと、131万5,051円のプラス、歳入の増となっております。あわせて、町民の方で他自治体にふるさと納税をしている方が6件ほどあるそうです。それによって、町民税としては、約ですけれども、11万4,200円ほどの減額となっていると。それを差し引いても、ふるさと納税分でいくと120万851円の収入増と、そういうことになってございます。

それから、地域交通利用促進事業でございます。まず、地域交通推進会議交付金309万5,960円は、バスの利用促進の助成事業でありまして、27年度から、お一人運賃3分の2の助成をしまして、年々利用者がふえてきております。29年度においては、件

数としては1,906件、利用人員としては延べで2,208人となっております。28年度と比較しますと、まず、件数でいけば215件の増、それから、延べ人員でいきますと118人の増となっております。

それから、その下の生活交通確保対策事業、十勝バス、北見バス、891万5,000円ですが、これは赤字補填分でございますが、十勝バスが512万7,000円、北見バスが378万8,000円で、これは8割が特別交付税措置されることになってございます。

それから、通学定期差額補助事業759万9,590円、これは高校生の定期の差額補助でございますが、足寄高校が16名、本別高校が8名、北見市内が12名、訓子府高校1名、置戸高校1名、合わせて38名の方に助成をしております。

それから、資料でも説明しました利用促進広告、ふるさと銀河線りくべつ鉄道ラッピングバスということで104万2,826円となっております。

次、49ページをお開きください。

まず、主要事業の中で、ポイント的に、まず、上から3つ目の定住促進対策、定住促進住宅使用料100万656円は、森林管理署の旭町のアパートでございまして、4世帯が入居してございます。

それから、移住産業研修センター管理275万5,816円、これは単身用で、ことしの3月末で6名の方が入居していると。

それから、新農林業人材発掘プログラム事業、これは昨年の9月3日から8日まで実施しまして、都内の大学生9人が酪農、林業を体験されております。

それから、その下の移住定住促進住宅建設等補助、住宅新築4件、住宅改修15件、これは29年度からスタートしておりますが、1,360万3,120円の執行となっております。

それから、地方創生推進交付金事業、これは資料ナンバー6で説明させていただきました、3町の連携事業335万7,493円、それと、とちかち連携事業で10万円でございます。

それから、下から4行目の民間活用住宅建設事業、繰越明許費ですが、単身用住宅1棟6戸が1,380万円、1棟4戸が920万円、単身者が10戸になります。これが2,300万円。そして、一つ飛んで太陽光発電設置事業、繰越明許費の50万円がございまして、繰越明許費は合計2,350万円。単年度分、29年度、太陽光でもう1件ございまして、2件で100万円となります。

49ページになります。

旅費で31万9,930円の不用額が出ておりますが、地域活性化事業で17万4,000円、ふるさと会で3万円、まちづくり関係で3万1,000円が主な内容。

需用費54万5,627円の不用額は、移住産業研修センターの燃料費などが33万5,516円、それから、ちょっと暮らし住宅の燃料費9万7,401円が主な内容でございます。

ます。

それから、役務費 159万2,942円の中に十勝バスのラッピング、ふるさと銀河線模様の104万2,826円を含んでございます。

それから、委託料 31万2,249円の不用額は、ふるさと納税事務関係で27万104円が主な内容です。

19節負担金補助及び交付金で50万円の繰越明許費、これは太陽光の助成1件分。

それから、不用額 144万2,557円は、通学定期差額補助分で36万1,410円、地域交通利用促進事業で40万4,040円、移住定住促進住宅建設等補助分が39万6,880円、サマーin事業で19万5,655円が主な内容でございます。

それから、公平委員会費、交通安全対策費、諸費につきましては、例年どおりの執行状況でありまして、51ページ、19節で263万6,931円を執行しておりますが、この中には自治会活動等の促進交付金253万8,931円を含んでございます。

それから、交流センター管理費、資料ナンバー17-1、2に管理費の内訳、利用状況をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思っております。29年度の利用者数は4,373人ということで、前年度から見ると49人の減となっております。

それから、需用費で23万5,298円の不用額は、大きいものとしては光熱水費で17万8,544円が主な内容でございます。

それから、委託料で63万9,311円の不用額は、宿泊部門の委託料59万4,880円が主な内容でございます。

それから、12目の銀河の森管理費、資料ナンバー18に天文台の実績関係、資料ナンバー19にコテージの利用状況をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思っております。決算額、51ページで、6,784万882円ですが、内訳としては、天文台関係で4,443万9,772円、コテージ関係で1,793万3,152円、銀河の森で229万3,920円、銀河の森専用水道で317万4,038円の内訳となっております。

主要事業、50ページで、まず、機械計装管理事業は、専用水道関係の事業執行でございます。施設等管理として、天文台管理、収入として838万1,626円でございますが、これは入館料が238万5,050円、設備等使用料が30万1,000円、天文台使用料569万5,576円の内訳でございます。入館者ですが、8,091人ということで、前年度から見ると46人の増でございます。入館料、今言いました238万5,050円ですが、28年度から見ると7万300円ほどの増。

コテージ村の管理1,583万982円ですが、これはコテージの使用料が1,568万2,500円、土地使用料が1万329円、土地貸付料が3万4,500円、コテージ村の電気料が10万3,653円の内訳となっております。稼働数が799棟で、28年度の909棟から見ると110棟マイナス、稼働率も31.3%ですが、28年度から見ると4.3ポイントの減となっております。

52ページ、53ページですが、まず、委託料で99万4,123円の不用額、これは

コテージ村の管理で45万7,619円、専用水道の管路等修繕で48万6,000円が主な不用額の内容でございます。

それから、13目地域活性化推進費、使用料ナンバー20にチャレンジプロ事業の一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

地域活性化推進事業、主要事業ですが、まず、ミネラルウォーター開発事業で3万本製造しております。226万957円。この配布先、配布本数でございます。販売では、28年度製造分が3,960本、29年度製造分で3,556本で、7,516本の販売をしております。販売収入で52万6,120円。あとは陸別町のPR、あるいはイベントなどで1万5,164本を無償で配布、提供してございます。

地域おこし協力隊です。4名おまして、新事業支援推進事業分が224万5,011円、商工観光推進事業193万8,561円。この新規事業と商工観光事業は、今年の1月1日からの就任でございます。

酪農支援推進事業は303万130円、産業振興推進事業613万4,292円で、あとは、ここに記載はございませんが、地域ブランド開発推進事業ということで、賃金ですが、55万4,000円ほどございます。これを合わせたものが合計で2,306万8,142円ということで、資料ナンバー20には出てございませんが、活性化事業としては2,306万8,142円となっております。

賃金で27万5,510円の不用額、これは新事業支援推進員で5万3,891円、商工観光推進員で4万145円、地域ブランド開発推進員で14万6,000円が主な不用額の内容でございます。

54ページ。

15目開町100年記念事業費15万5,520円ですが、ここに記載のとおり、2カ所分の懸垂幕をつくりまして、道の駅と庁舎前に開町100年ということで掲示しております。それが15万5,520円でございます。

それから、2項徴税費、税務総務費については、職員人件費と、大体例年どおりの執行であります。

それから、次のページ、57ページ。

償還金利子及び割引料49万6,300円ですが、これは町民税などの還付金で49万3,000円です。内訳としては、まず、町民税で6件、11万9,600円、固定資産税で8件、10万1,400円、法人町民税で3件、27万2,000円、合わせて17件の49万3,000円、それから、還付加算金が法人で3件、3,300円ほどございます。

不用額で105万3,700円でございます。町民税等還付金で100万7,000円、還付加算金で4万6,000円が主な内容でございます。

賦課徴収費については例年どおりの執行でございますが、税滞納整理機構の負担金が20万6,617円、町税49件、69万2,162円を引き継ぎまして、26件、40万7,415円を収納しております。うち町民税では22件、45万517円、それから、

固定資産税 21 件、19 万 4,545 円、軽自動車税 6 件で 4 万 7,000 円、合わせて 69 万 2,162 円を引き継ぎまして、まず、町民税で 13 件、26 万 4,170 円、それから、固定資産税で 12 件、13 万 6,045 円、軽自動車税で 1 件、7,200 円、合計で 26 件、40 万 7,415 円の収納となっております。ただ、この 7,200 円は、資料にもつけておりますけれども、陸別町に入ってきたのは 30 年度で、決算上では出てきませんが、この 1 件も税滞納整理機構から収入で入ってきていると、そういう内容でございます。

3 項戸籍住民基本台帳費、これも例年どおりの執行ですが、19 節の中に、ここに記載の戸籍総合システム使用料、保守料 375 万 8,400 円を含んでございます。

4 項選挙費、選挙管理委員会費、選挙啓発費は例年どおりの執行。

衆議院議員選挙費、昨年の 10 月 21 日に執行した衆議院議員選挙費でありまして、329 万 7,700 円、歳入歳出同額で執行をしております。

それから、次のページ。

5 項統計調査費、これも例年どおりですし、6 項監査委員費、これも例年どおりの執行です。

○議長（宮川 寛君） きりのいいところで、午後 1 時まで休憩いたします。

休憩 午前 11 時 54 分

再開 午後 1 時 00 分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、60 ページ。

3 款民生費です。

1 項社会福祉費、資料ナンバー 21-1 に民生費事業執行状況を添付しております。後ほどごらんをいただきたいと思っております。1 目社会福祉総務費 3 億 9,333 万 9,723 円の内訳ですが、まず、総務課の総務担当のほうで、職員人件費で 5,999 万 1,498 円。企画財政室で、国保会計への繰出金、介護保険会計への繰出金、総務担当と合わせると 1 億 4,572 万 3,089 円、です。それから、町民課の国保衛生担当で、子ども医療費、障がい、ひとり親家庭等の医療費助成が 1,557 万 2,515 円。保健福祉センターの福祉担当で 2 億 3,052 万 8,537 円。介護保険担当で 1 億 51 万 5,582 円の内訳となっております。

次のページになります。62 ページ。

主要事業は後ほどごらんをいただきたいと思っておりますが、中段ほどに福祉施設等整備事業、みどりの園施設整備、補助金ということで 1,000 万円、これはみどりの園の機能回復訓練棟建設に係る補助金でございます。

それから、下から 3 行目の交通費助成、助成券交付者、高齢者 604 名で、前年度から見ると 35 人の増、障がい者 118 名で、前年度から見ると 9 名の減となっております。

それから、火災見舞金、町民災害見舞金、1世帯ですが、5万円。これは昨年の12月11日に共栄第一で火災がありました。その見舞金の5万円でございます。

それから、63ページで、20節扶助費1億7,752万6,653円の執行ですが、不用額で691万347円でございます。内容としては、医療費扶助費が394万7,647円、障害者訓練等給付費が184万8,050円、障害者介護給付費が60万4,965円、地域生活支援費で30万8,133円の不用額です。

それから、繰出金8,573万1,591円ですが、国保会計への繰出金4,121万2,591円、介護保険会計への繰出金が4,451万9,000円です。不用額2,549万6,409円は国保会計の分になります。なお、国保会計の繰出金の内訳としては、保険基盤安定分が2,062万7,530円、その他分、財政対策分など含めて2,058万5,061円の内訳でございます。

2目老人福祉費、資料ナンバー21-2をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思えます。敬老祝い金ですが、喜寿29名、前年度から見ると6名の減、米寿27名、前年度から見ると17名の増、長寿はございません。合計56名で110万円。

次のページになります。

主要事業の中で、まず、デイサービスセンター運営費1,609万797円ですが、デイサービスの利用者延べ人数ですが、要支援1が319名、前年度よりマイナス15名、要支援2が311名で、前年度から見ると394名の減、要介護1、1,366名、515名の増、要介護2が524名、112名の減、要介護3、381名、45名の減、要介護4、2名、2名の増、要介護5はゼロ、前年度より34名の減です。合わせて2,903名ということで、143名の減となっております。それから、高齢者共同生活支援施設整備事業、福寿荘ということで、1億6,783万2,000円の事業費、これは工事請負費です。12月1日から入居を開始しております。備品関係がその下にあります714万67円でございます。

需用費で141万333円の不用額が生じておりますが、ふれあいの郷で23万8,734円、福寿荘で95万8,829円、高齢者交流センターで4万2,990円、老人健康増進センターで4万4,837円が主な内訳です。

19節で52万1,306円の不用額、これはデイサービスセンターの運営費分で47万5,203円が主な内容です。

それから、3目後期高齢者医療費ですが、19節負担金補助及び交付金3,652万8,022円、これは老人福祉費の19節から科目がえをしてこちらのほうにしております。

それから、繰出金1,687万678円は後期高齢者医療特別会計への繰出金です。

それから、2項児童福祉費、児童福祉総務費で、まず、出産祝い金、64ページですが、トータル14名になっておりますが、昨年から見ると4名の増でございます。報償費の不用額30万円は出産祝金の残でございます。

次のページ。

児童福祉施設費は、資料ナンバー 22 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

保育所、先ほど歳入でも説明しましたが、3月26日、卒園式現在では、2歳児が19人、3歳児が7人、4歳児が16人、5歳児が22人の64名となっております。

それから、需用費で41万4,870円の不用額ですが、これは燃料費で13万2,658円、食糧費で26万6,224円が主な内容でございます。

それから、69ページ。

19節で200万7,000円、この中には給食費負担金の199万2,000円を含んでございます。

それから、児童措置費は資料ナンバー 23 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

3項国民年金費についても資料ナンバー 24 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

4款衛生費になります。71ページで、19節負担金補助及び交付金で213万6,500円、この中には帯広厚生病院の運営費分で141万円を含んでございます。

それから、償還金利子及び割引料5万7,960円、これは28年度の精算で、未熟児療養医療費分、1名分ですが、対象者がいなかったということで、国に返還をしております。

それから、保健衛生施設費、これは保健センターの関係でございますが、決算額3,355万5,532円。この内訳としては、保健センター分で2,851万4,306円、公衆浴場分で504万1,231円の執行となっております。公衆浴場は合計で8,668人の利用となっております。それで、大人のほうが4,270人になってございます。

資料ナンバー 25 をつけておりますが、資料ナンバー 25 をちょっとお開きいただきたいと思います。衛生費関係で、一番上の表、公衆浴場・歩行浴施設事業、公衆浴場利用者8,526名となっておりますが、8,668名に訂正をお願いいたします。

それでは、決算書にお戻りください。

71ページで、中段の不用額で30万468円となっておりますが、保健センター分で29万18円、公衆浴場で1万450円の不用額で、公衆浴場の分でいけば、役務費で770円、委託料で1万40円、備品購入で8,640円が公衆浴場分の不用額でございます。

次のページ。

予防費ですが、72ページ、各種検診、健康診査、予防接種、資料ナンバー 25 をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

13節委託料で、不用額、99万9,380円ですが、各種検診で26万5,660円、予防接種で73万3,600円の不用額が主な内容でございます。

それから、扶助費で45万4,740円の不用額がございまして、特定不妊治療費助成

で30万円、妊婦健診交通費助成で8万3,400円、ロタウィルスワクチン助成2万4,000円が主な不用額の内容でございます。

それから、表に戻りまして、各種検診で合計で1,255名です。前年度から見ると、各種検診ではマイナス51名、健康診査は251名で、前年度から見ると11名の減、予防接種は913名で、前年度から見ると114名の減となっております。

それから、環境衛生費は例年どおりの執行でございまして、特に委託料42万2,883円の不用額は、火葬場業務41万2,640円の不用額が主な内容でございます。

次のページ。

診療所費、繰出金ですが、直診会計に繰り出し、1億4,551万7,000円であります。そのうち、財源としては、普通交付税、特別交付税措置されている6,891万2,000円がございまして、差し引きしますと7,660万5,000円を町単費で上乗せしているということでございます。

それから、2項清掃費であります。主要事業等はここに記載のとおりでありまして、例年どおりの執行状況となります。

塵芥処理費ですが、池北三町行政事務組合の負担金3,679万円ということで、前年度から見ると2,105万円ほどの減額となっております。これは銀河クリーンセンター建設費償還が終わったということでございます。

それから、3項水道費、これは小利別専用水道の予算でございまして、1目専用水道費で、下敷祢別、松浦宅まででございまして、29年度3月末、ことしの3月末で24戸ということになります。前年度から見ると1戸増となります。

それから、委託料で47万9,517円の不用額、これは管路修繕で29万1,000円、施設保全作業で9万8,968円、水質検査で5万5,388円が主な不用額の内容でございます。

それから、2目水道費、繰出金8,841万円は、簡易水道事業特別会計への繰出金でございます。

5款労働費、労働諸費については例年どおりの執行でございまして。

それから、緊急雇用対策費、これも例年どおりの執行でございまして、緊急雇用対策事業ということで741万1,672円、これは林業が2社、建設業が2社、建築業1社、5社で延べ447名の利用ということになります。

それから、雇用再生対策費、地元雇用促進事業であります。補助金で、ここに記載のとおり、新規で11名の利用がございました。継続が8名ございますので、29年度は新規11名と合わせて19名の利用でございます。特に新規雇用11名は、そのうち町外者が6名ございます。新規雇用11名を職業別に申し上げますと、農業が8名、そのうち町外者が5名、福祉関係で2名、建設業は1名で町外者ということになります。

それから、6款農林水産業費1項農業費の1目農業委員会費については例年どおりの執行状況でございます。

2目農業総務費につきましては、職員人件費でございます。

80ページ。

3目農業振興費、賃金から19節までは例年どおりの執行状況ですが、19節177万2,400円の不用額、この内訳としては、農林推進協議会補助金が88万6,535円の不用額、農業近代化資金利子補給36万3,970円の不用額、新農業人育成事業で42万5,000円の不用額でございます。

80ページの農業関係、主要事業の中で、特に荒廃農地等利活用促進、これは交付金199万円ですが、これはお二人の対象者でございます。

それから、4目畜産業費、ここに記載のとおりですが、ここで繰越明許費で2億4,778万9,000円の予算の繰り越しですが、実際は2億1,291万1,500円の執行であります。したがって、残額3,487万7,500円は、19節の不用額3,509万6,030円の中に含まれてございます。

5行目の畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業、これが2億1,291万1,500円で、歳入と同額でございます。これは19節、この中、2億2,198万6,970円の中に含まれてございます。

それから、優良家畜導入貸付金6,000万円、これは資料ナンバー26をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。牛70頭分の貸し付けでございます。

次、飛びまして、82ページ。

5目農地費になります。ここで繰越明許費が4,265万円ございますが、実質的には4,264万9,470円、この表の中の農業競争力強化基盤整備事業、陸別地区草地畜産基盤整備事業、道営草地、現年度分プラス繰り越し分とあります。繰り越し分が4,264万9,470円、そして現年度分が4,008万9,975円、この繰り越し分と合わせた額8,573万9,445円が19節の中に含まれてございます。

19節では7,649万5,000円が30年度への繰越明許費と。これは農業競争力強化基盤整備事業でございます。

それから、6目営農用水管理費2,750万8,872円。内訳としては、上陸別地区が486万1,383円、第2上陸別地区が1,884万4,660円、トラリ地区が380万2,829円の執行となっております。不用額では188万1,128円ございますが、これは上陸別地区で162万8,617円、第2上陸別で1万340円、トラリ地区で24万2,171円の不用額となっております。

表の中で、第2上陸別地区道営農業農村整備事業1,871万1,382円は19節でございます。

それから、機械計装管理事業、これは13節委託料でございます。

それから、需用費で42万4,930円の不用額が出ております。まず、上陸別地区で37万8,409円、トラリ地区で3万7,299円が主な内容でございます。

委託料で134万2,522円の不用額が出ております。上陸別地区で112万8,520円、内訳は、管路修繕で53万8,000円、施設保全作業で48万5,600円、水質検査で10万4,920円。トラリ地区で12万8,309円、内訳は、水質検査で7万7,960円、水道メーター取りかえで5万3,499円の不用額が主な内容でございます。

受益者については、上陸別地区でことしの3月末で29戸、前年度から見るとマイナス1戸、トラリ地区がことしの3月末で18戸、前年度から見ると1戸マイナスとなります。

それから、次のページ。

7目公共草地管理費、これは例年どおりの執行状況ですが、この中で、表の中の指定管理施設修繕等負担金120万126円とございます。これは畜産センターの雑用水の給水施設更新に係る負担金ということで、JAのほうにお支払いをしているということであります。

それから、8目農畜産物加工研修センター管理費、これは資料ナンバー27をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。給料からは例年どおりの執行でございますが、販売実績ですが、鹿肉ジャーキーが470個の販売で141万300円、鹿肉しぐれが344個の販売で13万7,600円、低温殺菌牛乳が6,235本の販売で82万2,620円、三つ合わせまして237万520円の販売収入となっております。ちなみに、前年度から見ると10万4,630円の販売収入の増でございます。

次のページ。

2項林業費、1目林業振興費であります。未来につなぐ森づくり推進事業、民有林造林促進事業、森林保護事業については資料ナンバー28、それから、一つ飛んで森林整備担い手対策推進事業、林業長期就労促進担い手対策事業、退職金共済制度加入促進事業、この三つについては資料ナンバー29をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

それで、この表の一番下の弥生地区小規模治山工事、流路工43.5メートルは工事請負費でございます。

19節負担金補助及び交付金で316万4,481円の不用額、民有林造林促進事業で155万2,041円の不用額、森林保護事業で124万8,213円の不用額、退職金共済制度加入促進事業で36万3,117円の不用額となっております。

2目狩猟費については、有害鳥獣駆除の関係でございます。この中で、ヒグマ11頭ですが、前年度から見ると3頭の増となっております。

次のページ。

3目林道新設改良費ですが、この表の中で、委託料は2行目の林道北トマム川沿線路面排水設置委託業務、それから、下から3つ目の林道川向勲祢別線ほか5路線の点検診断637万2,000円、これが委託料でして、それ以外、一番上の経営林道陸別薫別支線改良工事、それから、一つ飛んで林道東トマム高台線側溝整備工事、その下の林道川上信濃

線（川上橋）護岸補修工事、下二つ、川上信濃線法面補修工事、林業専用道の工事、これは15節工事請負費でございます。

それから、7款商工費の商工総務費につきましては人件費の計上。

次のページ。

商工振興費ですが、表に記載のとおりですが、特に商工業振興事業、まず、商工会への補助金、それから、プレミアム商品券が799万2,065円、これはプレミアム率20%で、7月、11月に2,000セットを2回、4,000セットですが、使用枚数が9万5,785枚、798万2,083円、事務費が9,982円で、799万2,065円となります。

それから、日産自動車購入費助成は7件分、110万7,574円でございます。

それから、19節で不用額が514万6,147円ございますが、まず、中小企業融資制度保証料補給で106万4,125円、それから、中小企業経営安定資金利子補給で86万3,020円、商工振興事業で132万6,576円、日産自動車助成で189万2,426円の不用額の内訳でございます。

観光費については例年どおりの執行でございます。

公園費についても同様です。

消費者対策費ですが、表の中で、消費生活相談窓口開設、これは月2回開設しております、24回開催しております。相談件数は2件で、ハガキによる架空請求、それから、マルチ商法の2件でございます。それから、消費生活支援事業、くらし塾、これは1カ月に1回で12回の開催でして、延べ52人が参加しております。

それから、92ページ。

8款土木費ですが、資料ナンバー30に建設課担当の工事一覧をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思っております。手当で36万7,005円の不用額、時間外勤務手当で28万7,557円、勤勉手当で7万8,628円となっております。

それから、道路橋りょう費、道路橋りょう総務費で、ここに記載の表の中では、公用車購入、除雪トラック10トン専用1台、これは備品購入費ですが、4,319万4,600円でございます。

それから、役務費で69万5,107円の不用額がございますが、除雪トラック10トン車分で22万3,633円、それから、通信運搬費で18万1,880円、車両検査手数料で25万4,848円、自動車保険料関係で3万3,970円が主な不用額の内訳です。

除雪トラックの全体の経費ですが、まず、役務費で58万4,637円、備品購入費で4,319万4,600円、公課費で16万4,000円が内訳でございます。

それから、道路維持費はここに記載のとおりであります。委託料で911万1,728円の不用額が出ております。除排雪業務で858万3,776円、道路維持補修で45万9,952円が主な内容でございます。

それから、橋りょう維持費、ここの表に記載のとおりでございますが、3行目の陸別町

橋梁点検委託業務負担金71橋、4,032万7,200円は19節負担金補助及び交付金の負担金の中でございます。

それから、道路新設改良費もここに記載のとおりであります。町道新町5号通りから殖産4号線、若葉4号線2号通り、川向伏古丹連絡線、通学道路関係の整備でございます。なお、殖産4号線、これはユニバースの前の通りですが、29年度に舗装工事2,192万4,000円をやりまして、30年度で舗装工事788万4,000円の予算ですが、30年度で整備が完了する予定でございます。

次のページ。

街路灯費、ことしの3月末で182基でございます。そのうちLEDの関係は98基で、28年度から見ると15基の増となっております。

需用費で59万1,750円の不用額、これは電気料で24万7,310円、修繕料で34万4,440円の不用額となっております。

河川費は、ここに書いてあるとおり、4河川の補修でございます。全て委託料でして、1,098万3,600円、委託料1,104万3,000円の中の内数でございます。

それから、住宅費、需用費で1,374万5,859円、これは修繕料が68戸分、1,323万135円を含んでございます。

次のページになります。

まず、維持管理で、管理が254戸、空き家が39戸、修繕が68戸でございます。

公営住宅改修事業ですが、つつじヶ丘団地内の道路測量設計、共栄団地の物置き塗装、これは委託料164万1,600円、それから、その下、つつじヶ丘団地の電気温水器更新から排水補修までは15節で1,331万6,400円、工事請負費でございます。

それから、住宅建設費でございます。この表の新町団地U棟の解体実施設計50万7,600円は委託料ですが、その下、U棟の解体工事1棟4戸から一番下の屋根防水工事、2団地3棟22戸までは工事請負費でございます。工事請負費8,646万4,800円の内訳でございます。

それから、工事請負費で8,206万円と、役務費で2万6,000円、繰越明許費が8,208万6,000円でございます。これは新町団地P棟の1棟3戸の建設ほかの事業でございます。

下水道費は繰出金、下水道会計への繰出金8,234万円です。

それから、9款消防費であります。消防費については、28年4月からとちち広域化になっております。1億7,268万6,751円。内訳としては、とちち広域消防負担金が1億4,611万円、消防団関係が2,265万7,833円、災害対策費が391万8,918円でございます。

1目消防費、これは消防団にかかわる予算でございまして、それと広域化の消防費の部分でございます。1億6,876万7,833円は、消防団費が2,265万7,833円、とちち広域消防負担金が1億4,611万円の内訳でございます。

まず、表の中では、消防施設等整備でドローンを1台購入してございます。69万6,600円。それから、消防車両等購入、小利別1号928万8,000円です。ドローンについては、総務課の防災担当でも1台購入しております。

1節の報酬196万6,662円ですが、ことしの3月末で消防団員は52名でございます。

それから、報償費の84万円は、年度末において団員2名の退団に伴う報償金でございます。

旅費で112万3,460円の不用額がございますが、団員の費用弁償が108万5,260円、普通旅費で3万8,200円でございます。

それから、需用費で53万8,929円の不用額ですが、消耗品費で35万4,043円、食糧費で6万1,340円、光熱水費で4万6,483円、修繕料で3万2,753円が主な内容でございます。

19節の1億4,853万3,500円ですが、消防団の分が242万3,500円、広域消防負担金が1億4,611万円です。

広域消防の内訳ですが、本部共通経費で1,065万6,000円、消防署費で1,738万5,000円、消防施設費で429万3,000円、職員費で1億1,434万3,000円、予備費で10万円、合わせて1億4,677万7,000円ですが、高速道路の支弁金、健康診断の負担金など66万7,000円の歳入がございます。それを差し引いた1億4,611万円が広域消防の負担金となります。

それから、2目災害対策費であります。ここの表の中で、総合防災訓練、昨年10月6日に総合防災訓練を実施しております。その経費が58万8,752円であります。参加者の内訳ですが、訓練展示、イベント広場では延べ151名、応急給食試食会、パネル・車両展示、段ボールベッド体験など、役場庁舎で延べ141人、災害図上訓練、保健センターで延べ24名、これは自治会役員の方に出席していただいて、災害図上訓練を実施したところであります。各会場合わせて316名の皆様に参加をいただいて総合防災訓練を実施したところでございます。

次、10款教育費、102ページになります。

1項教育総務費、1目教育委員会費、この表の中では、教育委員会制度改革に伴う総合教育会議、これは会議を1回開催しております。報酬から19節までは例年どおりの執行でございます。

2目事務局費で繰越明許費4,413万2,000円ですが、これは教員住宅の関係ですが、4,238万3,799円で確定しております。差し引き174万8,201円が不用額として残る形になっております。

この表の中でいけば、教職員住宅建設ということで、解体工事1棟2戸、それから、建設工事1棟2戸、これが繰越明許費でございます。これは工事請負費。それから、外構工事は29年度予算で492万4,800円、これも15節にして、繰越明許費の分が工事

請負費では4,235万7,600円でございます。

事務局費1億2,823万2,979円の内訳としては、教員住宅建設で4,946万8,599円、これは繰越明許費も含めた金額でございます。それから、人件費で7,008万5,478円が主な内容でございます。

それから、職員手当で36万8,571円の不用額ですが、時間外勤務手当が24万9,119円、勤勉手当11万7,583円が主な内容でございます。

繰越明許費でいきますと、12節で14万7,199円の中に2万6,199円、建築確認申請手数料が繰越明許費で入っております。

それから、工事請負費で繰越明許分が4,235万7,600円入っております。

次に、3目教育振興費です。この表の中でいきますと、学校教育の振興の2行目、学習支援員の雇用ということで468万7,549円、これは共済費で84万9,392円、賃金で383万8,157円の内訳でございます。

その下の英語指導助手招へい事業567万384円ですが、共済費、4節で98万8,031円、賃金で330万3,200円、旅費で11万9,890円、需用費、11節で14万8,026円、12節で6万6,045円、委託料で3,000円、使用料で78万360円、19節で24万1,975円、22節で1万9,857円、合わせて567万384円の執行でございます。

それと、補助金の中では、陸別中学校開校70周年記念事業として100万円の補助金を出しております。

それから、22節の補償補填及び賠償金1万9,857円、これは予備費を充当しておりますが、昨年12月18日に交通事故がございまして、その損害賠償の額でございます。

それから、4目スクールバス運行管理費については例年どおりの執行状況でして、特にこの中で表がございまして、106ページの表がございまして、各路線ごととは別にして、トータルでいきますと、大人で2,437人の利用がありましたが、前年度から見ると804人の減、子供も1万2,558人、延べであります。前年度から見ると329人の減、部活は883人ですが、前年度から見ると178人の減、合計1万5,878人ですが、前年度から見ると1,811人の減となっております。

5目教育研究所費は例年どおりの執行状況。

2項小学校費、学校管理費についても同様に例年どおりの執行状況ですが、歳入でも説明しましたけれども、30年3月31日現在では1年生が18人、2年生が14人、3年生が22人、4年生が15人、5年生が14人、6年生が14人、97人の児童数でございます。

それから、教育振興費についても例年どおりの執行ということですが、表の一番下にございますが、学校給食費補助462万6,720円が19節の額でございます。

それから、就学援助で、これは扶助費でございますが、上の準要保護は11名で、昨年

度から見ると1名の増。それから、その下の特別支援教育6名は前年度から見ると2名の増でございます。

それから、3項中学校費であります。3月31日現在、1年生が14人、2年生が13人、3年生が17人の44人の生徒数でございます。

需用費で40万9,201円の不用額がございますが、消耗品費で9万7,844円、燃料費で6万4,110円、光熱水費で7万8,615円、修繕料で9万4,520円、印刷製本費で6万5,520円の不用額でございます。

11節から19節までは例年どおりの執行状況。

教育振興費についても例年どおりの執行状況でございます。需用費で27万4,242円の不用額がございますが、消耗品費で18万5,760円、印刷製本費で2万482円の不用額。

表の中で、就学援助、20節扶助費ですが、まず、上の準要保護8名ということで、マイナス1名、前年度から見ると1名の減。その下の特別支援教育の扶助2名ですが、昨年度から見ると1名の減、合わせて2名の減ということになります。

一番下にあります学校給食費補助で240万3,230円、これは19節でございます。

それから、4項社会教育費、社会教育総務費、報酬からは例年どおりの執行状況となります。

それで、中段に学童保育所指導員設置事業とありますが、ことしの3月末で登録者は25名でございます。

それから、土曜授業推進事業、講師謝礼ほかで20万828円ございますが、これは1項教育総務費の3目教育振興費から科目がえをして社会教育費のほうに振りかえをしております。

下の中学生等海外研修派遣事業は11名、前年度は13名でマイナス2名、冒険・体感inとうきょう事業、小学生14名で、昨年度も14名でございます。

それから、賃金で24万1,990円の不用額、これは社会教育指導員で6万8,990円、学童保育所で17万3,000円の不用額でございます。

19節で57万1,918円の不用額、芸術鑑賞で35万7,019円、冒険・体感inとうきょうで14万3,076円、文化団体活動推進事業で4万7,900円の不用額でございます。

それから、公民館費、報償費から19節までは例年どおりの執行ですが、図書室の照明LED化工事235万4,400円、それから、中段に図書室とございまして、図書室の利用者数ですが、今年度3,395名ということで、前年度から見ると95名の減、図書貸出冊数2,554冊ですが、前年度から見ると168冊の減、図書購入は447冊ですが、前年度から見ると63冊の増となっております。

それから、文化財保護費につきましては、報酬から19節までは例年どおりの執行です

が、関資料館、入館者601名ですが、有料が400名で、有料者分であれば、前年度から見ると55名の減でございます。

それから、5項保健体育費、114ページであります。

保健体育総務費、これも報酬から19節までは例年どおりの執行ですが、この表の中の中段に各種大会の開催ということで、今年度、11大会、15日の開催で、延べ1,063人の参加でございましたが、昨年度から見ると大会数は1の増、日数でも1日の増、延べ人員では374名の増となっております。

体育施設費についても、例年どおりの執行状況でございます。

次、116ページ。

学校給食費でございます。この執行額、5,598万9,250円の内訳ですが、まず、職員人件費が1,383万9,042円、給食センター維持管理費で4,215万208円でございます。

表に戻りまして、給食センターの収入額が1,300万9,378円、管理費が4,215万208円、これは人件費を除いてでございます。その下に内訳として、収入、保育所199万2,000円、小学校462万6,720円、中学校240万3,230円、教職員274万3,000円、その他で124万4,428円。まず、保育所と小学校、中学校902万1,950円でございます。これは歳入歳出同額ですが、これに対して、歳出分で行くと、子育て支援で過疎ソフト890万円を充当しております。あわせて、給食センター維持管理費として基金から2,000万円を取り崩しをしております。そうすると、収入額と2,000万円を足して3,300万9,378円、管理費4,215万280円を差し引きしますと、人件費を除いては、一般財源は914万830円ということになります。

それから、需用費で70万3,111円の不用額ですが、賄い材料費で48万799円、光熱水費で11万1,309円、燃料費で9万8,824円の不用額でございます。

11款災害復旧費で2項公共土木施設災害復旧費、これは町道陸別薫別線の工事でございます。

繰越明許費で606万3,000円ですが、確定しているのが520万8,390円で、85万4,610円の不用額が出ております。

それから、12款公債費については、資料ナンバー13に起債残高をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

なお、一般会計の分の残高は45億1,427万3,000円ございますが、これを3月末の人口2,392人で割り返しますと、町民1人当たり188万7,237円ということで、前年度から見ると4万1,646円ほど増となっております。

13款予備費は398万143円ということで、1件の充当でございます。

歳出合計ですが、当初予算で45億5,922万6,000円で、補正が1億2,879万2,000円、繰越明許費が3億7,153万5,600円で、確定しているのが3億3,

395万5,759円の支出ということになります。繰越明許費の不用額が3,757万9,841円、これが不用額1億4,485万2,434円の中に含まれてございます。

予算現計額が50億5,955万3,600円に対して、支出済額が47億5,207万4,166円、繰越明許費が1億6,262万7,000円であります。予算流用は7件、80万5,214円。予備費につきましては、先ほども説明しましたが、1件、1万9,857円の充当でございます。

122ページ。

実質収支に関する調書でございます。

1の歳入総額、単位は1,000円ですが、50億156万1,000円、歳出総額が47億5,207万4,000円、差引額が2億4,948万7,000円で、繰越明許費繰越額が1億3,909万2,000円、実質収支額が1億1,039万5,000円で、先ほど説明した繰越明許費の1億3,909万2,000円というのは、30年度繰越明許費1億6,262万7,000円から、未収入特定財源2,353万5,000円を引いた収入済額1億3,909万2,000円でございます。6,000万円は財政調整基金への積み立て、残の5,039万5,000円、円単位では5,039万4,932円が30年度への繰越金となります。

それから、123ページ、財産に関する調書ですが、1の公有財産、(1)土地及び建物、アの総括表です。土地、地積ですが、行政財産、普通財産を合わせた合計が3,096万7,017.32平米、年度中の増減62万7,879.52平米、年度末現在高が3,159万4,896.84平米、建物の木造ですが、前年度末が1万6,856.25平米、増減が1,127.25平米、年度末現在高が1万7,983.5平米。非木造ですが、前年度末現在高が4万7,347.39平米、増減がマイナス208.19平米、それから、年度末が4万7,139.2平米、延べ面積計で、前年度末計が6万4,203.64平米、増減が919.06平米、年度末現在高が6万5,122.7平米でございます。

この土地建物の行政財産、普通財産の内訳でございますが、まず、行政財産については124ページ、133ページ、普通財産については125ページ、133ページ、山林、有価証券は126ページ、出資に関する権利は127ページ、物品、備品については128ページ、債権、基金については3月31日現在ですが、132ページにありますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

以上で、議案第57号の説明を終わります。次、議案第58号の説明に移ります。

○議長（宮川 寛君） 2時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 2時13分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、これから特別会計の説明に入らせていただきます

す。

まず、議案第58号平成29年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定についてであります。説明資料170ページをお開きください。

一般会計もそうですけれども、説明資料で大体大枠の決算の中身がある程度把握されるというふうに思っております。

それでは、説明させていただきたいと思います。

171ページをお開きください。次のページになります。

第1表、国民健康保険事業の最近年度比較表であります。29年度、職員2名、保健師数ゼロ、診療所1、病床数が12。

給付期間は転帰で、保険税徴収回数が8回。

平均世帯数が438世帯、前年度より21世帯の減でございます。

それから、被保数が平均で712人、前年度から見るとマイナス41人でございます。

1世帯当たりの税調定額が19万54,542円、前年度から見ると3,357円の増。

1人当たりの税調定額が11万9,676円で、3,137円の増。

1人当たり療養諸費用額が39万5,177円で、1万4,177円の減となっております。

受診率が1,823.6%で、前年度から見ると73.8ポイントの増でございます。

第2表が29年度歳入歳出決算の総括でございます。予算額4億9,322万2,000円で、決算額、歳入が4億7,846万2,097円、歳出が4億6,095万9,684円で、差し引き1,750万2,413円でございます。これは平成30年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は93.5%でございます。

それから、第3表、歳入実績の最近年度比較表でございます。特に国保税、29年度では収入済額が8,586万6,922円で、前年度から見ると122万3,156円の減でございます。この内訳としては、現年課税分で8,397万9,800円、滞納繰越分で188万7,122円の内訳でございます。不納欠損は5万1,000円、2人の2件です。収入未済額が269万4,500円で、現年課税分で14人の64件、122万9,700円、滞納繰越分で16人、117件、146万4,800円でございます。歳入に占める割合は17.9%、収納率は96.9%でございます。

国庫支出金以下、ここに記載のとおりでございますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

合計でいけば、調定額4億8,120万7,597円で、収入済額が4億7,846万2,097円、前年度から見ると1,599万7,470円の減でございます。収入未済額が269万4,500円、不納欠損が5万1,000円でございます。収納率は99.4%でございます。今年度の収入割合でいきますと、国庫支出金、国から入ってくるお金が27.6%と、歳入の第1位を占めておまして、2番目が共同事業交付金20.7%、3番目に国保税で17.9%という順番になってございます。

第4表が、次のページ、歳出実績最近年度比較表であります。全体としては執行割合が93.5%、支出済額が4億6,095万9,684円。総務費については、執行率は72.1%、保険納付金については92.9%、後期高齢者支援金等が100%、それから、6款介護保険給付金が100%、それから、共同事業拠出金が99.6%という執行率になってございます。

第5表、次のページ、国民健康保険税収納額最近年度比較表であります。左側が現年課税分、右側が滞納繰越分ですが、現年課税分、調定額が8,520万9,500円で、収入済額が8,397万9,800円、前年度から見ると145万7,700円の減でございます。収入未済額が122万9,700円、前年度から見ると108万6,900円ほど下がっております。件数は14人の64件でございます。件数としても4人の43件マイナスということになります。収納率が98.6%。滞納繰越分ですが、調定額340万2,922円で、収入済額が188万7,122円、不納欠損5万1,000円、2人、2件でございます。収入未済額が146万4,800円で16人の117件であります。現年課税分、滞納繰越分を足しました収入未済額は30人の181件、269万4,500円でございます。

第6表の最近5ヶ年間の決算額調についてはここに記載のとおりですので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

それでは、歳入、147ページをお開きください。147ページ。

歳入ですが、国保事業の一覧を、ナンバー31-1から4まで、収支決算を含めて資料を提出しておりますので、ごらんをいただきたいと思っております。

1款国民健康保険税、一般被保険者国保税、29年度末の世帯数は437世帯、被保数が711人、前年度から見ると世帯数で18世帯、被保数で36人のマイナスとなっております。

それから、退職被保険者のほうは、年度末で世帯数が2世帯、被保数が3人で、前年度と比較しますと、世帯数でマイナス5世帯、被保数で7人の減となっております。

国保税の歳入8,586万6,922円ですが、これは税滞納整理機構から27件、104万4,422円、入金になっております。先ほど言いました不納欠損5万1,000円は2人、2件、収入未済額が269万4,500円で、30人の181件でございます。

それから、一般被保険者の国保税ですが、8,505万9,482円、これは、まず医療給付費分で5,338万5,459円、介護納付金分で866万6,665円、後期高齢者支援金分で2,300万7,358円の内訳でございます。現年課税分は調定額8,440万2,060円に対して、収入済額が8,317万2,360円、収入未済額が122万9,700円、14人の64件分ですが、8月末で4人の17件、12万4,100円が入金になっております。滞納繰越分で188万7,122円の収入がありますが、この中には税滞納整理機構から27件、104万4,422円の入金がございます。不納欠損で2人、2件の5万1,000円、収入未済額で146万4,800円、16人の117件、8

月末で7人、44件、53万3,100円が入金となっております。

それから、退職被保険者の国保税ですが、現年課税分で80万7,440円、医療給付費分で42万8,820円、介護納付金分で15万3,839円、後期高齢者支援金分で22万4,781円の内訳でございます。

2款国庫支出金の療養給付費等負担金7,168万9,924円、前年度より1,015万7,790円の増でございます。

それから、高額医療費共同事業負担金、特定健康診査等負担金、次のページ、国庫補助金の財政調整交付金4,527万2,000円。29年度においては、普通調整交付金はゼロで、交付されませんでした。特別調整交付金で4,527万2,000円の交付でございます。この中には、直診会計への繰出金3,804万7,000円、へき地診療所分ということで、この額も含んでございます。

次の国民健康保険制度関係業務準備事業補助金1,133万3,000円は、国保の広域化に伴うシステム改修費の補助金でございます。

それから、3款療養給付費等交付金、これは退職者医療に係る分で、現年度分、113万5,000円で、59万2,000円ほど前年度から見ると減額となっております。

それから、4款前期高齢者交付金、前期高齢者交付金ですが、6,442万3,330円ということで、29年度の概算分が8,594万7,007円、27年度の精算額がマイナスの2,151万6,792円です。調整額がマイナスの6,885円、差し引き6,442万3,330円の支出となります。

それから、5款道支出金の高額医療費共同事業負担金319万5,000円は、国庫負担金と同額でございます。

それから、次のページ。

特定健康診査等負担金50万円、過年度分の4万7,000円も国庫負担金と同額でございます。

道補助金の財政調整交付金2,427万2,000円は、前年度から見ると751万8,000円の増でございます。普通調整交付金が1,102万2,000円、特別調整交付金が1,325万円でございます。

6款共同事業交付金、1目共同事業交付金は979万2,345円で、132万6,131円の増。

それから、2目保険財政共同安定化事業交付金8,930万777円、115万2,371円の増。

それから、7款財産収入、利子及び配当金、基金利子1,491円。

8款繰入金の一般会計繰入金で、まず、保険基盤安定繰入金2,062万7,530円。保険基盤安定繰入金については、一般会計の歳入のほうで、まず、保険者支援分として国が2分の1分、393万5,827円、北海道負担分、4分の1分、196万7,913円が歳入として入ってきまして、町の負担分、4分の1分、196万7,915円、合わせ

て保険者支援分として787万1,655円。それから、保険料軽減分、これも一般会計の歳入で入ってきますが、北海道負担分、4分の3分で956万6,906円、町の負担分、4分の1分で318万8,969円、合わせて保険料軽減分として1,275万5,875円、全てを合わせた2,062万7,530円が一般会計からの繰入金となります。これが保険基盤安定繰入金。

その他の一般会計繰入金2,058万5,061円、これについては、まず、出産育児一時金分が28万円の2件、56万円、事務費分が257万2,624円、保健事業分が89万1,900円、特定健診分が182万1,537円、葬祭費分が5件分、5万円、財政対策分が1,468万9,000円で、合わせて2,058万5,061円です。

なお、この財政対策分1,468万9,000円のうち、これは北海道経由で来ておりますが、国保財政安定化支援分として468万9,000円が交付税措置されているということでございます。したがって、町単費分としては1,000万円の負担ということになります、この財政対策分については。

それから、9款繰越金が前年度繰越金で1,591万8,395円。

10款諸収入で、まず、延滞金加算金及び過料の一般被保険者延滞金14万200円、これは26件分です。

それから、その次の下、退職被保険者等延滞金、一般被保険者加算金、次のページ、退職被保険者等加算金、それから、雑入の一般被保険者第三者納付金、退職被保険者等第三者納付金、一般被保険者返納金、退職被保険者等返納金はそれぞれ科目存置でございます。

5目雑入、雑入で7万9,419円、これは健康診断個人負担分が14人分、2万8,000円、超高額医療費共同事業交付5万1,419円、合わせて7万9,419円の収入でございます。

歳入合計、当初予算では5億104万円です。補正予算で781万8,000円の減額、予算現額としては4億9,322万2,000円で、調定額が4億8,120万7,597円、収入済額が4億7,846万2,097円、不納欠損が5万1,000円、収入未済額が269万4,500円でございます。

次、歳出、157ページにいきます。

1款総務費1項総務管理費、一般管理費です。表にありますとおり、電算システム、これは国保制度の都道府県への広域化に伴う電算システムの関係でございます。国保の都道府県化準備事業負担金1,057万6,880円、それから、同じく国保市町村事務処理標準システム北海道クラウド構築業務等に係る構築負担金1,318万1,176円ですが、まず、上の都道府県化準備事業負担金は予算を1,579万5,000円見ておりましたけれども、実際には執行額が1,057万6,880円ということで、521万8,120円の不用額。その下の市町村事務処理標準システムの北海道クラウド構築に係る負担金、これも予算を1,808万1,000円見ておりましたけれども、実際には1,318万1,1

76円の執行で終わりました。したがって、差し引き、不用額489万9,824円、その上の521万8,120円と合わせて1,011万7,944円が19節の不用額になってございます。

積立金では1,491円、基金利子でございます。

それから、2項徴税費、賦課徴収費ですが、十勝圏複合事務組合、税滞納整理機構への負担金41万383円ですが、55件、170万822円を引き継ぎしまして、27件、104万4,422円を収納してございます。

次のページへいきます。

2款保険給付費でございます。保険給付費の執行額は2億3,024万3,873円で、前年度から見ると2,362万6,994円の減額となっております。

1項療養諸費、2億425万4,449円で、前年度から見ると2,058万5,538円の減額となっております。

一般被保険者療養費、19節ですが、1億9,640万6,583円、前年度から見ると1,873万8,566円の減額、件数では1万2,180件、130件の減、費用額は2億7,131万7,395円で、前年度から見ると2,429万873円の減額。

退職被保険者等療養費、19節、172万2,952円ですが、前年度から見ると49万8,230円の減、件数でいけば90件で、マイナスの71件、費用額は87万1,910円、前年度から見ると231万7,926円の減額となります。

それから、一般被保険者療養費、19節549万5,472円で、前年度から見ると129万550円の減、件数でいけば684件、マイナスの16件、費用額746万9,213円、前年度と比較しますと178万106円が減額となっております。

退職被保険者等療養費、19節、4万8,130円、前年度から見ると5万6,686円の減、件数は3件で、前年度から見るとマイナス2件、費用額が6万8,759円で、前年度から見ると8万981円の減となっております。

2項高額療養費です。2,509万9,424円で、前年度から見ると263万1,456円の減額となります。

一般被保険者高額療養費、19節、2,467万6,934円で、前年度から見ると300万7,818円の減、件数では450件、マイナスの32件、費用額では2,467万6,734円で、300万4,473円の減額となります。

次のページ。

退職被保険者等高額療養費、19節、42万2,490円で、退職のほうは前年度から見ると37万6,362円ほど増となっております。件数では5件、前年度から見ると4件の増、費用額が42万2,490円で、前年度から見ると37万6,362円の増でございます。

その下、一般被保険者高額介護合算療養費、退職被保険者等高額介護合算療養費、それから、3項移送費、一般被保険者、退職被保険者については科目存置でございます。

4 項出産育児諸費の出産育児一時金 84 万円は、42 万円の 2 件分でございます。

それから、5 項葬祭諸費、葬祭費、19 節は 1 万円の 5 件、5 万円でございます。

3 款後期高齢者支援金等は、19 節ですが、3,992 万 739 円、前年度から見ると 110 万 6,838 円の増、29 年度概算額が 4,437 万 3,884 円、27 年度の精算額がマイナスの 445 万 5,233 円、調整額がマイナスの 761 円、事務費が 2,597 円で、差し引き 3,992 万 487 円でございます。

それから、4 款前期高齢者納付金等ですが、19 節、14 万 5,917 円、前年度から見ると 11 万 8,699 円の増です。29 年度概算額が 14 万 8,980 円、27 年度精算額がマイナスの 5,812 円、調整額がマイナス 1 円、事務費が 2,750 円、差し引き 14 万 5,917 円でございます。

それから、6 款介護保険納付金であります。1,714 万 2,772 円ということで、前年度から見ると 201 万 7,717 円の増でございます。

それから、7 款共同事業拠出金、高額医療費拠出金 1,256 万 5,838 円ですが、前年度から見ると 352 万 6,681 円の減額でございます。

それから、保険財政共同安定化事業拠出金、19 節、8,391 万 6,645 円、前年度から見ると 291 万 7,719 円の減額。

4 目、5 目については科目存置。

8 款保健事業費の特定健康診査等事業費、13 節委託料 274 万 2,545 円の内訳は、健康診断 284 件、265 万 5,496 円、共同電算処理 353 件の 8 万 7,049 円です。

健診なのですが、特定健診の受診率の目標は 60% にしておりましたが、特定健診の受診率としては、当町は 29 年度で 68.7% の受診率となっております。

不用額 74 万 5,455 円は、健診分で 73 万 8,504 円の不用額となっております。

保健事業費であります。

次のページ。

委託料 75 万 6,112 円の内訳ですが、まず、健康診断、40 歳未満、14 人の 11 万 3,894 円、予防接種ですが、インフルエンザ 128 人、38 万 4,000 円、それから、高齢者肺炎球菌 41 人、16 万 4,000 円、それから、ふれあい広場ステージ設置 7 万 5,600 円です。それと、共同電算業務で 1 万 8,618 円。不用額 39 万 5,888 円は、各種予防接種 21 万 2,000 円、健診 16 万 1,106 円の不用額でございます。扶助費で 1 万 5,560 円、これは償還払いですが、インフルエンザの予防接種が 2 人、高齢者肺炎球菌が 2 人でございます。

9 款諸支出金の償還金、23 節償還金利子及び割引料 718 万 5,339 円ですが、まず、国保税の還付、10 世帯、15 件、94 万 6,900 円、還付加算金、8 世帯、12 件、3 万 4,700 円、補助金返還 620 万 3,739 円、これは平成 28 年度の精算に伴

う国への療養給付費分の返還でございます。

それから、繰出金、直診会計への繰出金ですが、3,804万7,000円、へき地診療所運営費分としての繰出金です。

歳出合計で、当初予算額5億104万円、補正額が781万8,000円の減額、予算現計で4億9,322万2,000円、支出済額が4億6,095万9,684円、不用額が3,226万2,316円です。予備費充当が4件、58万1,600円でございます。

それから、169ページは実質収支に関する調書、1,000円単位でございます。

歳入総額が4億7,846万2,000円、歳出総額が4億6,096万円、歳入歳出差引額が1,750万2,000円、実質収支額が1,750万2,000円でございます。

以上で、議案第58号の説明を終わりました、次、議案第59号の説明に移ります。

議案第59号平成29年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について。

193ページをお開きください。193ページは説明資料になります。

次のページ、194ページになります。

第1表、29年度の歳入歳出決算の総括でございます。予算額3億1,320万3,000円で、決算額、歳入が3億2,070万2,962円、歳出が2億9,842万4,630円、差し引き2,227万8,332円が30年度への繰越金となります。歳出の執行率は95.3%。

第2表が歳入実績最近年度比較表でございます。まず、1款診療収入、調定額が1億1,263万9,359円で、収入済額が1億1,261万4,839円で、収入未済額が1件、入院ですが、2万4,520円でございます。トータルとしては、予算現額が3億1,320万3,000円で、調定額が3億2,072万7,482円、収入済額が3億2,070万2,962円で、収入未済額が2万4,520円であります。

次のページ。

第3表が歳出の実績最近年度比較表であります。後ほどごらんをいただきたいと思っております。

なお、総務費は98.1%の執行率、医業費については73.9%の執行率、公債費については93.2%の執行率、合計では95.3%の執行率。支出済額が2億9,842万4,630円でございます。

それから、第4表が29年度の診療収入収納状況調。入院については、収入済額が1,655万7,158円で、前年度から見ると204万5,139円の減、収入未済額が1件、2万4,520円、それから、外来が、診療収入7,780万3,080円、前年度から見ると3,153万4,970円の減でございます。

次のページになります。

第5表、29年度経費別支出内訳調であります。総務費で2億7,146万4,895円、前年度から見ると1,384万6,130円の増、診療収入に対する割合は241.1

%で、65.6ポイントの増。それから、医業費ですが、2,590万3,471円で、7,106万2,718円の減となります。それから、診療収入に対する割合は23%でございます。

それから、第6表が患者数及び職員数等調で、入院については、患者数が764人、前年度から見ると286人の減、外来でいけば1万2,561人の患者数で、1,280人の減でございます。

次のページは、職員数調、患者1人1日当たり診療収入調、患者1人1日当たりの薬品費調、診療収入に対する投薬等の収入割合を載せておりますので、ごらんをいただきたいと思えます。

それでは、歳入の178ページをお開きください。

178ページ、歳入ですが、資料としては修正版の32-1がございませう。修正版のほうを後ほどごらんをいただきたいと思えます。診療所の運営状況をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

1款診療収入の全体では1億1,261万4,839円で、3,420万5,160円の減。

入院収入では1,655万7,158円で、204万5,139円の減、未収で1件、2万4,520円、これは一部負担金のほうでの未収でございますが、8月までに4,000円が入金となっております。

それから、外来収入が7,780万3,080円で、3,153万4,970円の減でございます。

2款使用料及び手数料の行政財産使用料3万5,674円は自販機の設置。

手数料は、文書料が、診断書ですとか介護意見書など、98万2,240円。

3款財産収入、土地建物貸付収入ですけれども、職員住宅3戸分。

4款繰入金、一般会計繰入金が1億4,551万7,000円、起債償還分が105万7,000円、施設等整備分が106万円、財政対策分が1億4,340万円、それから、その下、国保事業勘定特別会計からの繰入金3,804万7,000円はへき地診療所運営分でございます。

それから、5款繰越金、前年度繰越金で1,745万7,317円。

それから、6款諸収入ですが、私用電話料が4,340円、雑入が528万5,984円、嘱託医報酬が294万円、社会保険料個人負担分が154万1,404円、患者外給食が68万3,610円、医療器具使用料などが12万930円でございます。

歳入合計としては、当初予算が3億1,434万9,000円、補正予算が114万6,000円の減額、予算現額としては3億1,320万3,000円で、調定額が3億2,072万7,482円、収入済額が3億2,070万2,962円、収入未済額が2万4,520円でございます。

次、歳出、186ページにいけます。

1 款総務費、一般管理費で、屋上の防水工事 1 0 5 万 5, 1 6 0 円は工事請負費でございます。

まず、給料、不用額で 1 4 1 万 5, 5 0 0 円、これは昨年の 7 月に看護師 2 人を採用しましたが、1 名の方が自己都合で 9 月 3 0 日で退職されました。その後も募集をしておりましたが、応募者がなかったということで、給料、手当、共済費で不用額が生じております。手当で 9 0 万 1, 9 3 3 円の不用額、これは時間外で 2 2 万 9, 2 0 5 円、それから、特殊勤務手当で 8 万 5, 7 6 2 円、勤勉手当で 2 1 万 7, 8 6 9 円、退職手当組合費で 2 6 万 2, 6 8 1 円が主な内容。共済費 6 3 万 8, 9 9 2 円の不用額は、共済組合費で 4 8 万 7, 4 7 4 円、それから、社会保険料等 1 2 万 4, 5 9 7 円が主な内容。賃金で 9 2 万 9, 7 7 4 円の不用額がございますが、臨時医師分で 4 0 万円、臨時調理人分で 3 4 万 2, 5 5 9 円、臨時看護師分で 1 3 万 8, 5 0 1 円が主な内容でございます。それから、役務費で 3 2 万 9 5 円の不用額、これは労働者紹介手数料 3 1 万 4, 2 4 9 円が主な内容でございます。

次のページ。

2 款医業費でございます。医療用機械器具費、備品購入費で 4 4 万 2, 8 0 0 円、これは薬用冷蔵庫 2 台でございます。1 台、薬局の薬用冷蔵庫が昨年の 7 月に故障しまして、使用できなくなりまして、議会に間に合わないということで、予備費を充当して 1 台、2 5 万 9, 2 0 0 円を更新しております。あわせて、外来用の薬用冷蔵庫 1 8 万 3, 6 0 0 円については補正をお願いして購入しております。

それから、医療用機械器具費で 5 9 万 6, 2 6 8 円、前年度から見ると 4, 4 2 8 万 4, 5 5 6 円の減額になっております。これは 2 8 年度において C T 装置ですとか病室用ベッド、内視鏡システムなど 4, 4 1 9 万 1, 0 0 0 円ほど予算を執行しておりますが、その分が減額の大きい要因でございます。

それから、医療用消耗器材費、需用費で 6 5 万 6, 5 9 3 円の不用額は消耗品。

それから、医薬品費は 1, 1 8 0 万 5, 9 3 4 円で、前年度から見ると 2, 6 0 5 万 1, 2 1 4 円の減。内訳としては、医薬品で 9 3 万 5, 3 2 9 円、ワクチンで 4 1 0 万 3, 1 0 9 円、注射用薬剤 6 7 2 万 3, 1 8 0 円、血液が 4 万 4, 3 1 6 円の内訳でございます。

給食費、需用費の不用額については、賄い材料費 2 0 万 1, 9 3 2 円が主な内容です。

3 款公債費については、資料ナンバー 1 3 をつけております。起債残高一覧がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

元金では 9 9 万 1, 8 9 1 円、前年度から見ると 1, 7 7 9 万 8 3 0 円の減額。

利子については 6 万 4, 3 7 3 円で、1 5 万 5, 8 1 4 円の減額でございます。

歳出合計予算額が、当初予算 3 億 1, 4 3 4 万 9, 0 0 0 円、補正が 1 1 4 万 6, 0 0 0 円の減額、予算現額が 3 億 1, 3 2 0 万 3, 0 0 0 円です。支出済額が 2 億 9, 8 4 2 万 4, 6 3 0 円、不用額が 1, 4 7 7 万 8, 3 7 0 円で、予備費充当が 1 件、2 5 万 9, 2 0 0 円でございます。

192ページ。

実質収支に関する調書。これは1,000円単位ですが、歳入総額が3億2,070万3,000円、歳出総額が2億9,842万5,000円で、差し引き2,227万8,000円、実質収支額が2,227万8,000円であります。

以上で議案第59号を終わりました。議案第60号の説明に移ります。

議案第60号平成29年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について。

215ページをお開きください。説明資料になります。

216ページ。

第1表、29年度歳入歳出決算の総括。予算額1億8,074万7,000円、決算額、歳入1億8,056万3,611円、歳出1億7,616万9,059円、差し引き439万4,552円は平成30年度への繰越金となります。なお、歳出の執行率は97.5%でございます。

それから、第2表が歳入実績最近年度比較表でございます。使用料及び手数料で5,336万5,910円の収入、前年度から見ると6万366円の減、収入未済額が1件、3,640円ですが、これは8月までに全額入金となっております。合計で予算額が1億8,074万7,000円で、調定額1億8,056万7,251円、収入済額が1億8,056万3,611円で、前年度から見ると1,181万9,472円の減額です。この会計も一般会計からの繰入金率が49%ということで、会計では1番でございまして、2番目に使用料関係が入って、29.5%でございます。

次のページ。

第3表については、歳出実績最近年度比較表でございます。支出済額が1億7,616万9,059円、前年度から見ると1,178万9,506円の減となっております。総務費については97.6%の執行率、施設費については96.4%の執行率、公債費については執行率100%で、全体的な執行率は97.5%でございます。

それから、219ページ。

第4表、水道使用料徴収実績調です。陸別地区、調定額が5,323万7,550円、収入済額が5,323万3,910円で、前年度から見ると5万6,366円の減、収入未済額1件、3,640円。これは先ほども申し上げましたとおり、8月までに全額入金となっております。内訳として、一般用ですが、3,855万2,108円で、前年度から見ると65万4,368円の減、営業用ですが、347万7,564円で、前年度から見ると3万9,004円の増、事業用が714万9,922円で、64万6,762円の増、団体用348万1,454円で、前年度から見ると11万62円の減、浴場営業用56万360円で、前年度から見ると2万8,220円の増、臨時用1万2,502円で、前年度から見ると5,922円の減となっております。

それから、用途別給水戸数、3月末現在ですが、一般用が1,013戸でマイナス10戸、営業用が30戸で前年度と同様の戸数です。それから、事業用が41戸で、前年度か

らマイナス1戸、団体用は6戸で前年度も同様です。浴場営業用も1で前年度と同様です。臨時用はございません。トータルで1,091戸でございます、前年度から見るとマイナス11戸となります。

それから、220ページ。

給水状況調ですが、給水量については30万4,533立方メートル、前年度から見ると7,898立方メートルの増、1日平均給水量は834立方メートルですが、前年度から見ると21立方メートルの増、給水人口2,173人で、前年度から見るとマイナスの50人、1人1日平均給水量384リットルですが、これは前年度から見ると18リットルの増となります。

それでは、歳入、204ページをお開きください。

204ページ、歳入です。

1款使用料及び手数料の使用料、水道使用料です。29年度は1万3,411件でして、件数としては前年度から見るとマイナスの150件となります。水道使用料が5,323万3,910円で、前年度から見ると5万6,366円の減、収入未済額は1件、3,640円ですが、8月末までに全額入金となっております。

手数料です。設計手数料13万2,000円ですが、給水装置新設工事審査手数料11件、8万8,000円、それから、給水装置その他の工事の審査手数料、増改造6件、撤去5件、合わせて11件の4万4,000円でございます。

それから、2款国庫支出金の簡易水道事業補助金、これについては645万8,000円、これは機器更新に係る補助金でございます。

4款繰入金、一般会計からの繰入金が8,841万円、建設改良分が5,196万2,000円、財政対策分が3,644万8,000円で、前年度から見ると471万2,000円の増となります。

それから、5款繰越金が442万4,518円。

6款諸収入、雑入ですが、210万5,183円。まず、これは下水道会計からの下水道料金の事務費負担金が121万9,583円、それから、消火栓整備補償費88万5,600円でございます。

それから、7款町債、簡易水道事業債が2,580万円で、過疎債が1,290万円、簡易水道事業債が1,290万円でございます。

歳入合計で、当初予算が1億8,199万8,000円、補正予算が125万1,000円の減額、予算現計で1億8,074万7,000円、調定額が1億8,056万7,251円、収入済額が1億8,056万3,611円、収入未済額が3,640円でございます。

次、歳出、208ページに進みます。

次のページ。

1款総務費、一般管理費、検針用ハンディターミナル3台の購入、備品購入費です。147万4,416円。

この中で、委託料で150万9,164円、これは水道料金収納業務127万3,884円が主な内容でございます。

それから、27節の公課費118万6,100円は消費税でして、28年度分が59万4,100円、29年度の間納付分が59万2,000円でございます。

それから、2款施設費6,022万8,979円、施設維持費でございます。この表に書いてあるとおり、まず、水道メーター取りかえ138カ所は、委託料250万7,114円、更新用水道メーターが138個、245万7,756円は備品購入費でございます。

需用費の不用額44万4,737円、これは消耗品費が29万3,715円、燃料費が15万1,022円です。

委託料で159万5,466円の不用額ですが、管路等修繕で70万2,640円、水道メーター取かえで57万2,126円、施設保全作業で22万5,000円、施設設備保守点検4万3,620円が主な内容です。

それから、施設新設改良費でございます。この表の中で、まず、3段目の陸別地区簡易水道市街地区配水管布設替工事383万4,000円、これは町道新町5号通りでございます。その下、市街地区配水管新設工事278万6,400円は、町道通学道路南側線です。その下、市街地区配水管新設工事その2232万2,000円は、町道若葉4号通り、2号通りでございます。それと、その下がしらかば苑の地先の消火栓の更新工事88万5,600円、工事請負費が2,920万3,200円でございます。今言った三つの工事、しらかば苑の工事、その下二つ、浄水場の機器更新工事その2まで合わせて2,920万3,200円でございます。

それから、3款公債費については、資料ナンバー13に起債残高一覧表をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

歳出合計、当初予算額が1億8,199万8,000円、補正予算額が125万1,000円の減額、予算現額で1億8,074万7,000円で、支出済額が1億7,616万9,059円、不用額が457万7,941円でございます。

次のページ。

実質収支に関する調書ですが、1,000円単位で、歳入総額が1億8,056万4,000円、歳出総額が1億7,616万9,000円で、差し引き439万5,000円、実質収支額が439万5,000円でございます。

以上で議案第60号を終わりました、次、議案第61号に移ります。

○議長（宮川 寛君） 3時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 3時07分

再開 午後 3時14分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第61号平成29年度陸別町公共下水道事業

特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

資料235ページをお開きください。説明資料になります。

236ページ。

第1表、29年度歳入歳出決算の総括。予算額1億8,028万8,000円で、決算額、歳入1億8,046万378円、歳出が1億7,851万8,516円で、歳入歳出差し引き194万1,862円が30年度への繰越金となります。歳出の執行率は99%になります。

第2表、歳入実績最近年度比較表でございますが、分担金及び負担金が125万円で、前年度から見ると20万円の減、使用料及び手数料は2,513万2,755円で、前年度から見ると41万2,062円の減となっております。収入未済額1件、2,386円ですが、8月末までに全額入金となっております。合計ですが、予算額1億8,028万8,000円で、調定額1億8,046万2,764円で、収入済額が1億8,046万378円、前年度から見ると3,726万9,077円の増となっております。この会計も一般会計からの繰入金が45.6%ということで第1位の歳入の率となっております。国庫支出金が19.3%、3番目に町債が来て、4番目に使用料及び手数料13.9%となります。なお、簡易水道事業、それから公共下水道事業もそうですが、やっぱり人口が少なくなることによつての使用料、分担金の減がございますので、どうしてもこういう財政構造になってきているというのは御理解いただけるかなというふうに思っております。

それから、次のページ。

第3表歳出実績最近年度比較表ですが、総務費1,195万3,615円で、執行率98.2%。

施設費5,007万1,004円で98.9%。

事業費が7,169万3,600円で100%。

公債費4,480万297円で99.9%。

支出済額が1億7,851万8,516円で99%の執行率となります。

それから、第4表が下水道使用料徴収実績調。調定額、陸別処理区で2,505万5,141円、収入済額が2,505万2,755円で、44万62円の減となっております。収入未済額2,386円、1件ですが、先ほど説明したように、8月末までに全額入金済みです。内訳として、一般用で収入済額2,470万687円で、45万7,402円の減、それから、公衆浴場用で35万2,068円で、1万7,340円の増となっております。

処理状況、今年の3月末現在ですが、処理人口1,812人、61人の減、水洗化人口1,650人でマイナスの1人、水洗化率91.1%で0.8ポイントの増でございます。

歳入、224ページをお開きください。

歳入。

1款分担金及び負担金の分担金、下水道事業分担金です。125万円で、内訳としては、28年建設分、12戸分で30万円、29年度建設分の26戸で65万円、29年度

の前納分で12戸分、30万円の内訳でございます。

それから、2款使用料及び手数料の下水道使用料で2,505万2,755円、44万62円の減ですが、未収金1件、2,386円については8月末までに全額入金となっております。

それから、手数料で下水道手数料8万円については、排水設備工事新設工事審査手数料8件、6万4,000円、排水設備その他工事審査手数料1万6,000円で、改造が1件の撤去が3件でございます。

それから、3款国庫支出金については、下水道事業補助金で3,483万8,100円。

4款繰入金、一般会計繰入金ですが、8,234万円で、建設改良分が19万4,000円、分流式下水道分が2,725万4,000円、財政対策分が5,189万2,000円でございます。

5款繰越金が266万4,747円。

6款町債が、下水道事業債で3,420万円、過疎債が1,710万円、下水道事業債が1,710万円です。

7款財産収入の物品売払収入3万4,776円は鉄くずの売払収入でございます。

歳入合計、当初予算額が1億9,269万3,000円、補正予算額が1,240万5,000円の減額、予算現計額が1億8,028万8,000円で、調定額が1億8,046万2,764円の、収入済額が1億8,046万378円、収入未済額が2,386円でございます。

次、歳出、228ページに移ります。

歳出。

1款総務費の一般管理費については、職員の人件費を含めて例年どおりの執行状況で、27節公課費で56万6,400円は28年度分の消費税でございます。

それから、2款施設費の施設維持費5,007万1,004円、需用費で30万2,100円の不用額、修繕料で26万3,640円、光熱水費で2万6,593円が主な内容でございます。

施設維持事業、終末処理場管理事業については、この表に記載のとおりですので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

3款事業費の下水道建設費7,169万3,600円で、前年度から見ると3,980万380円ほど増となっております。

表の中で、一番上の浄化センター機器更新工事に係る価格調査委託業務84万2,400円は委託料、13節です。

その下、公共下水道污水管渠新設工事1工区から一番下の浄化センター汚泥脱水機長寿命化工事までは15節でございます。合わせて7,067万5,200円でございます。

4款公債費、元金3,565万3,505円、利子が914万6,792円、起債残高の推移は資料ナンバー13がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

歳出合計で、当初予算額が1億9,269万3,000円、補正予算額が1,240万5,000円の減額、予算現額が1億8,028万8,000円で、支出済額が1億7,851万8,516円の減額、不用額が176万9,484円で、予算流用1件、1万2,000円、予備費充当が1件、1万3,000円でございます。

234ページ。

実質収支に関する調書です。単位は1,000円でございます。歳入総額が1億8,046万円、歳出総額が1億7,851万9,000円、歳入歳出差引額が194万1,000円、実質収支額が194万1,000円でございます。

以上で議案第61号の説明を終わりました、次、議案第62号の説明に移ります。

議案第62号平成29年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定についてですが、266ページ、説明資料をお開きください。

267ページに移ります。

267ページ。

第1表、29年度の歳入歳出決算の総括であります。予算総額3億929万円で、決算額、歳入3億901万3,888円、歳出2億9,967万9,180円、歳入歳出差引額933万4,708円、これは30年度への繰越金となりまして、昨日議決をいただきました30年度の介護保険会計の補正予算の精算となっております。歳出の執行率は96.9%でございます。

第2表、歳入実績最近年度比較表でございます。介護保険料が調定額4,919万6,725円、収入済額が4,864万6,970円で、37万7,112円の増でございます。不納欠損14万8,470円、4人の4件分。それから、収入未済額が40万1,285円、現年度分で8人の8件、25万8,695円、滞納繰越分で3人、3件、14万2,590円、合わせて11人の11件、40万1,285円でございます。

合計ですが、予算現額が3億929万円、調定額が3億956万3,643円、収入済額が3億901万3,888円で、前年度より421万1,201円増となっております。収納率が99.9%でございます。

第3表が歳出実績最近年度比較表でありまして、総務費が652万3,895円で、94.4%の執行率。

保険給付費が2億7,405万4,548円で、97.7%の執行率。

地域支援事業費は832万7,096円で、82.9%の執行率。

基金積立金は702万1,908円で、100%でございます。

諸支出金が375万1,733円で、96.9%の執行率。

合計が2億9,967万9,180円で、前年度から見ると429万6,474円の増で、執行率が96.9%でございます。

それから、第4表介護保険料収納額調ですが、現年度賦課額、29年度分の調定額4,871万9,965円、収入済額が4,846万1,270円、収入未済額が25万8,69

5円、8人の8件、収納率が99.5%。滞納繰越分は、調定額が47万6,760円、収入済額が18万5,700円、不納欠損額が14万8,470円、4人、4件、収入未済額が14万2,590円、3人の3件でございます。収入未済額、現年度分、滞納繰越分を合わせますと、11人の11件、40万1,285円でございます。

それでは、予算書、歳入、245ページをお開きください。

歳入、245ページです。

資料ナンバー33-1、2に介護保険事業勘定特別会計の実施状況をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

まず、1款介護保険料、第1号被保険者の保険料です。本年3月31日現在の被保数は889人で、前年度から見るとマイナス6人となっております。それから、現年度分ですが、4,846万1,270円、29万4,505円の増でございます。内訳として、普通徴収分が361万685円、特別徴収分が4,485万585円でございます。滞納繰越分で調定額47万6,760円に対して収入済額が18万5,700円、前年度から見ると8万2,607円の収入済額の増となります。不能欠損額が14万8,470円、4人、4件分です。これは27年度分の不納欠損。それから、収入未済額が3人、3件の14万2,590円、8月末までに1件、4,900円が入金となっております。

それから、2款国庫支出金のうち、地域支援事業交付金、現年度分で361万2,040円、前年度から見ると98万3,370円増ですが、内訳として、介護予防・日常生活支援総合事業分が234万2,200円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が126万9,840円です。

それから、事業費補助金46万円については、システム改修に係る補助金でございます。

3款道支出金のうち、地域支援事業交付金、現年度分で173万5,045円、この内訳ですが、介護予防・日常生活支援総合事業分が110万125円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が63万4,920円でございます。

それから、4款支払基金交付金のうち、地域支援事業支援交付金で224万3,000円、前年度から見ると81万1,000円の増でございます。

5款財産収入の利子及び配当金は、基金利子が838円。

それから、6款繰入金でございます。一般会計繰入金、介護給付費繰入金3,505万5,000円、前年度から見ると48万6,000円の増、事務費繰入金744万3,000円で、前年度から見ると93万9,000円の減、地域支援事業繰入金142万8,000円で、前年度から見ると18万4,000円の増でございます。なお、内訳としては、介護予防・日常生活支援総合事業分が81万8,000円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が61万円でございます。それから、低所得者保険料軽減繰入金ですが、59万3,000円、内訳としては、国、2分の1分が29万6,940円、北海道、4分の1分で14万8,470円、町、4分の1分が14万7,590円の内訳でござ

ございます。

それから、基金繰入金が608万3,000円です。資料ナンバー12に基金別増減一覧表をつけております。後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、7款繰越金、前年度繰越金が941万9,981円。

それから、8款諸収入の第1号被保険者延滞金、それから、第1号被保険者の過料、それから、預金利子、雑入の滞納処分費、第三者納付金、返納金は科目存置でございます。

雑入48万7,494円の調定に対して、同額、48万7,494円の収入済額ですが、内訳は、介護扶助審査判定業務が42万4,400円、総合事業利用者負担金が6万3,094円の内訳となっております。

当初予算額が2億8,775万円、補正予算が2,154万円、予算現額が3億929万円です。調定額3億956万3,643円、収入済額が3億901万3,888円、不納欠損額が14万8,470円、収入未済額が40万1,285円でございます。

次、歳出、253ページへ移ります。

1款総務費、一般管理費で、表にありますように、介護保険計画策定ということで、第7期の計画における日常生活圏域ニーズ調査を実施しております。これは委託料153万3,600円であります。

それから、負担金補助及び交付金で131万3,712円は、介護保険のシステム改修分でございます。

それから、賦課徴収費は例年どおりの執行。

介護認定審査会費の役務費74万9,920円は、主治医意見書175件分でございます。

それから、19節負担金補助及び交付金の172万4,600円は、池北三町介護認定審査会の負担金。

認定調査費の委託料68万6,660円は、介護認定調査業務の直営分161人、委託分が3人、合わせて164人、それから、施設、委託分が11人、合わせて175人分、2事業者でございます。介護認定調査業務でございます。

それから、次のページ。

2款保険給付費の1項介護サービス等諸費でございます。まず、居宅介護サービス給付費、19節ですが、1億3,125万8,179円、1,327万8,178円の増ですが、第6期計画では延べ1,740人でしたが、29年度実績では1,545人です。計画との差でいきますと195人の減ですが、実人員の実績ベース、前年度比較では209人の増でございます。

居宅介護サービス計画給付費、19節、871万7,578円、計画では延べ684人ですが、実績では634人で、マイナス50人。ただ、前年度と比較をしますと77人の増でございます。

それから、施設介護サービス給付費、19節、1億612万809円、延べで444人

ですが、実績は483人、39人の増です。実績ベースではマイナス34人でございます。

居宅介護福祉用具購入費ですが、19節で35万5,358円、7件を見ておりましたが、実績は10件で、3件の増、前年度から見ると5件の増でございます。

居宅介護住宅改修費34万7,400円、6件を見ておりましたが、5件ということで、マイナス1件、前年度から見ると1件の増でございます。

それから、2項介護予防サービス等諸費の介護予防サービス給付費、19節で238万5,228円、延べ96人を見ておりましたが、実績では169人、計画ベースでいくと73人の増で、前年度から見ると132人の減でございます。

それから、介護予防サービス計画給付費71万2,900円、延べ492人を見ておりましたが、163人の実績で、329人の減、前年度ベースでいくと77人の減でございます。

介護予防福祉用具購入費12万772円ですが、6件を見ておりましたが、4件ということで、マイナス2件で、実績ベースでいくと、前年度から見るとマイナス1件となります。

それから、介護予防住宅改修費23万4,000円ですが、5件を見ておりましたが、実績は2件ということで、マイナス3件、実績ベースでいくと前年度と同じ件数、2件でございます。

それから、4項高額介護サービス等費の高額介護サービス費でございますが、432万8,443円で、実人員が42人、前年度より1名減でございます。

それから、5項高額医療合算介護サービス等費の高額医療合算介護サービス費253万9,206円、実績は37人でございます。前年度から見るとマイナスの20人ということになります。

それから、6項特定入所者介護サービス等費の特定入所者介護サービス費1,674万1,338円は、延べで483人の実績です。前年度から見るとマイナス8人でございます。

それから、特定入所者介護予防サービス費2万4,651円で、延べ4人でございます。前年度から見ると1名の増。

それから、3款地域支援事業費1項介護予防・生活支援サービス事業費1目介護予防・生活支援サービス事業費の委託料63万940円は、訪問型サービスAのNPOへの委託料、延べ人員で243人で、114人の増でございます。

それから、19節、483万3,033円は、第1号事業給付費で、訪問型・通所型サービスで、国保連への支払いとなります。

それから、介護予防ケアマネジメント事業費、委託料24万3,800円は、町居宅介護支援事業所への委託料56件分でございます。

それから、2項一般介護予防事業費の委託料7万6,000円は、社協へのふまねっと

運動の委託料、43回分でございます。

それから、3項包括的支援事業・任意事業費の1目の包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費、委託料42万1,400円は、介護予防サービス計画作成業務で、町居宅介護支援事業所への76件、町外の居宅介護支援事業所へ24件の委託、合わせて100件の委託でございます。

それから、2目任意事業費の委託料145万8,950円については、まず、介護教室でNPOへ10万円、それから介護用品給付、おむつですが、社協へ43万3,100円、おむつ395個、それから、社協ですが、配食サービス92万5,850円、弁当2,086個分でございます。

それから、4項その他の諸費、これはここに記載のとおりです。

4款基金積立金は資料ナンバー12、基金別増減表がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

積立金で702万1,908円。

それから、5款諸支出金の第1号被保険者保険料還付金3万380円、過年度分の還付で6件、それから、介護給付費負担金等返還金372万1,353円、内訳としては、28年度分の精算に伴う返還金として、地域支援事業分、国に64万5,197円、北海道に35万7,881円、支払基金に38万4,322円、町へ233万3,953円、町への返還金の内訳としては、地域支援事業分で19万6,629円、介護給付分で82万3,197円、介護給付分の事務費で131万4,127円でございます。

歳出合計で、2億8,775万円の当初予算額、補正予算額が2,154万円、予算現額で3億929万円で、支出済額が2億9,967万9,180円、不用額が961万820円で、予算流用1件、8,686円でございます。

265ページ。

介護保険会計の実質収支に関する調書。単位は1,000円ですが、歳入総額が3億901万4,000円、歳出総額が2億9,967万9,000円で、歳入歳出差引額が933万5,000円、実質収支額は933万5,000円です。

以上で議案第62号の説明を終わりました、次、議案第63号の説明に移ります。

議案第63号平成29年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について。

283ページをお開きください。283ページ、説明資料です。

次のページ、284ページ。

第1表、29年度歳入歳出決算の総括で、予算額4,181万8,000円、歳入決算額が4,158万9,676円、歳出決算額は4,158万9,676円で、差引額はゼロ、執行率は99.5%です。

第2表、保険料収納額調は、調定額2,375万6,200円で、収入済額も同額の2,375万6,200円で、100%の収納となります。

それから、第3表が歳入実績最近年度比較表でございまして、後期高齢者医療保険料

2,375万6,200円は、96万4,100円の増でありまして、合計で調定額4,158万9,676円で、収入済額も同額でございます。

それから、第4表歳出実績最近年度比較表では、総務費で219万4,322円、執行率98.1%。

2款の後期高齢者広域連合納付金で3,916万9,554円、100%の執行率。

諸支出金で22万5,800円、これも100%の執行。

合計で支出済額が4,158万9,676円で、99.5%の執行率になります。

歳入。

272ページをお開きください。

歳入ですが、資料ナンバー34にフロー図をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

1款後期高齢者医療保険料で、被保数がことしの3月31日現在で553人で、前年度から見ると9名の増となっております。特別徴収保険料が465人、普通徴収保険料が197人ですが、69人の方が重複してございます。特別徴収、現年度分で1,373万5,500円、普通徴収の現年度分1,002万700円でございます。

それから、3款繰入金で事務費繰入金300万7,324円ですが、広域連合の事務費分が155万円、町単独分が145万7,324円です。内訳としては、インフルエンザ分で86万2,500円、事務費分で43万9,938円、健診分で15万4,886円でございます。

それから、保険基盤安定繰入金1,386万3,354円ですが、まず、北海道が4分の3分、1,039万7,515円、町が4分の1、346万5,839円でございます。

4款繰越金はございません。

それから、5款諸収入の延滞金は科目存置。

償還金及び還付加等金の還付加算金、7,300円は2件、保険料還付金20万4,500円は13件、歳出同額でございますが、このうち8件、システム誤りによる還付分18万7,500円を含んでございます。

それから、雑入です。50万9,998円で、広域連合から健診委託料が36万7,998円、特別調整交付金13万3,000円ですが、内訳としては、制度改正による周知分が11万9,000円、システム誤り分で1万4,000円でございます。

それから、6款広域連合支出金25万円は、すこやか推進事業補助金として、インフルエンザ予防接種の補助金でございます。

歳入合計、次のページですが、当初予算額は4,133万1,000円、補正予算額は48万7,000円で、予算現額が4,181万8,000円、調定額が4,158万9,676円、収入済額が同額の4,158万9,676円でございます。

次、歳出、278ページに移ります。

1款総務費、一般管理費でございます。委託料で162万2,772円、内訳として

は、健康診断で63人、52万2,884円、インフルエンザ予防接種363人、108万9,000円、共同電算処理1万888円。扶助費ですが、2万3,500円、これは償還払いです。インフルエンザの予防接種8人分でございます。

それから、3款諸支出金の保険料還付金23節償還金利子及び割引料20万4,500円、これは13件分で、歳入と同額でございます。

それから、還付加算金2万1,300円は4人分、これはシステムの誤りによる分でございます。

それから、次のページ。

歳出合計で、当初予算額4,133万1,000円の、補正予算額が48万7,000円、予算現額が4,181万8,000円で、支出済額が4,158万9,676円、不用額が22万8,324円でございます。予備費充当は5件の11万5,800円でございます。

282ページ。

実質収支に関する調書、単位は1,000円です。歳入総額が4,159万円、歳出総額も4,159万円、実施収支額はゼロでございます。

以上で、議案第57号から議案第63号までの説明を終わります。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

平成29年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点があれば、この際、質疑を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

平成29年度各会計の決算認定にかかわる質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、第8日目の9月18日に行います。

◎延会の議決

○議長（宮川 寛君） お諮りいたします。

本日の会議は、これで延会したいと思います。

特別の事情がない限り、17日までは休会といたします。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。

◎延会宣告

○議長（宮川 寛君） 本日は、これにて延会いたします。

延会 午後 3時51分